

平成 26 年度 総合交通戦略基礎調査業務
(市民意向調査)

報告書

平成 27 年 3 月

下 関 市

序．業務の目的及び概要

1．業務の目的

平成 25 年 12 月に交通政策基本法が施行されたことにより、交通に関する基本理念や関係者の責務等が明確化され、基本理念を踏まえた施策の推進を図り、交通体系をより一層充実していくことが明示された。また、平成 26 年 8 月に都市再生特別措置法、平成 26 年 11 月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正され、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通網の整備について方向性が示された。さらに、交通政策基本法に基づき、平成 27 年 2 月に交通に関する基本的な計画として交通政策基本計画が閣議決定され、政府が今後講ずべき今後の交通に関する施策について定められた。

下関市では、下関市総合計画において『情報があふれ、活動しやすい便利なまち』の実現に向けた公共交通の確保・充実に向けて取組みが進められてきた。しかしながら、公共交通を取り巻く環境は厳しく、人口減少に伴う公共交通の利用者数の減少により、輸送サービスの低下が課題となっている。今後、本格的な高齢社会の到来を踏まえ、公共交通は市民にとってなくてはならないものであるとともに、地域の活性化や環境保全などその果たすべき役割はますます大きくなるものと考えられる。そのため、将来の交通のあるべき姿や方向性、その実現のための方針を定め、実施すべき施策とその手法を明らかにする交通計画（総合交通戦略）の策定が求められる。

これらの状況を踏まえ本業務は、市民アンケート調査及びバス利用者ヒアリング調査を実施し、公共交通の利用状況及び現状の交通環境に対する問題点等を把握し、市民の意向やニーズ把握のもと下関市の交通に係る課題の抽出・整理を行うことを目的とする。

2．業務の概要

(1) 業務の範囲

下関市全域

(2) 業務の期間

平成 26 年 10 月 8 日～平成 27 年 3 月 20 日

(3) 業務の項目

業務に伴う計画・準備

・計画準備

・資料収集・整理

アンケート及びヒアリングの実施

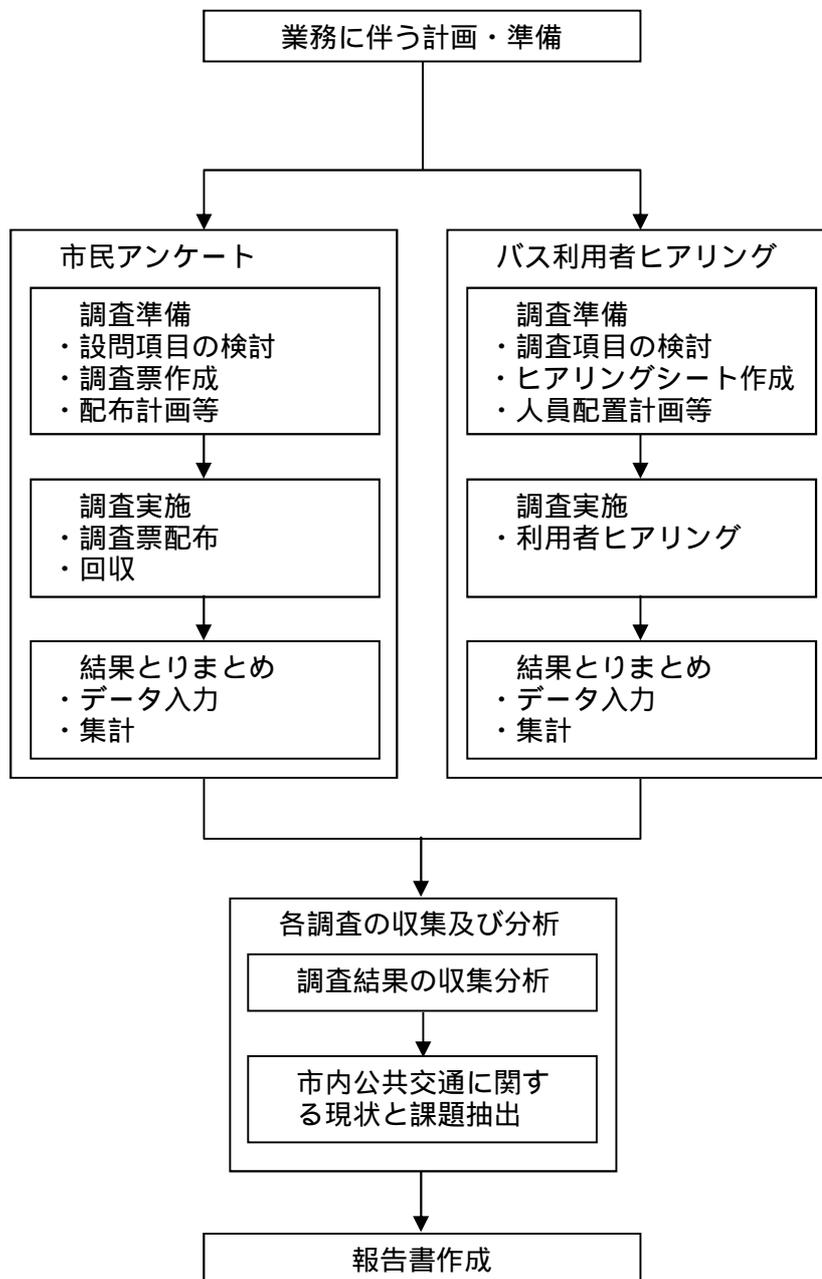
・市民アンケート

・バス交通利用者ヒアリング

各調査の収集及び分析

3. 業務の内容

本業務は以下の作業フローに従い実施した。



(1) 業務に伴う計画・準備

本業務の遂行にあたり、作業計画を立案し、工程表及び業務フロー等を含む業務計画書を作成した。

あわせて、市内の交通の現状や市交通施策に関する関連計画及び既往調査成果等をふまえ、市民アンケート調査及びバス利用者ヒアリングにおける調査項目の検討を行った。

(2) アンケート及びヒアリングの実施

1) 市民アンケート調査

日常的な移動における公共交通に対する利用者の意識を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を実施した。

<p>実施項目</p> <p>対 象：下関市民（市職員及び学生を含む）</p> <p>配布、回収方法：郵送による配布、回収。（市職員及び学生は直接配布、回収とした）</p> <p>設問項目：・回答者属性</p> <ul style="list-style-type: none">・日常的な移動における交通利用の実態及び満足度・公共交通利用に関する意識・市の交通計画に対する意向・要望 等
--

2) バス交通利用者ヒアリング調査

市内の路線バス利用者に対して、バスの利用状況や問題点、改善要望などについてのヒアリング調査を実施した。

<p>実施項目</p> <p>対 象：市内路線バス停4か所（下関駅及び新下関駅バス停、東駅バス停、城下町長府バス停）におけるバス利用者</p> <p>調査方法：バス利用者に調査員が設問を提示し、聞き取りを実施</p> <p>調査日時：平日1日/箇所、昼間（通勤～帰宅時間帯）</p> <p>設問項目：・回答者属性</p> <ul style="list-style-type: none">・路線バスの利用状況・路線バスの満足度・路線バスに関する意向・要望 等
--

(3) 各調査の収集及び分析

前項で実施した調査の収集及び分析を行い、市内の公共交通に関する現状と課題の抽出を行った。

調査結果の収集分析にあたっては、結果の単純集計とともに、回答者属性（地域、年齢）と公共交通の利用実態や意向等とのクロス集計を行うことで、属性に応じた利用実態や公共交通に関する市民意識、利用ニーズ等の抽出を行い、下関市における交通の現状と課題としてとりまとめた。

4 . 構成

本報告書の構成は以下のとおりである。

序 . 業務の目的及び概要

本業務の目的及び内容等について整理した。

第 1 章 . 市民アンケート調査

市民の公共交通の利用状況や交通環境に係る問題点など、日常的な移動に関して公共交通に対する市民意識を把握するためのアンケート調査及び分析を行い、交通環境の現況及び市民意向等についてとりまとめた。

第 2 章 . バス利用者ヒアリング調査

下関市内を運行する路線バス利用者の利用状況や問題点・改善要望等を把握するためのバス利用者ヒアリング調査及び分析を行い、市内の路線バス交通利用の現況及び市民意向等についてとりまとめた。

第 3 章 . 今後の検討事項

前章までの調査結果を踏まえ、公共交通の利便性向上や利用者の評価向上等の観点から市の交通の現況と課題を整理するとともに、総合交通戦略策定に向けた今後の検討事項についてとりまとめた。

第 1 章 . 市民アンケート調査

1 . 調査の目的

下関市における今後の公共交通のあり方等を検討していくにあたり、市民の公共交通の利用状況や交通環境に係る問題点など、日常的な移動に関して公共交通に対する市民意識を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を実施した。

2 . 調査概要

調査は、下関市民 2,000 人を無作為に抽出し、郵送によるアンケート調査を実施した。また合わせて、市在住の市職員及び学生に対する直接配布によるアンケート調査を実施した。

市民アンケート調査概要

項目	概要	
名称	下関市総合交通戦略に関する市民アンケート調査	
調査方法	市民アンケート	学生アンケート
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・下関市民：2,000 人（無作為抽出） ・下関市在住市職員等：304 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校在校生：337 人
配布、回収方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市民：郵送 ・市職員等：庁内で直接配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を通じて直接配布
調査日	【市民】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 11 月 28 日（金）発送 ・平成 26 年 12 月 19 日（金）投函締切 【市職員等】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 12 月 12 日（金）配布 ・平成 26 年 12 月 26 日（金）回収 	【学生】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 12 月 9 日（火）配布 ・平成 26 年 12 月 24 日（水）回収
回収数及び回収率	【市民】 <ul style="list-style-type: none"> ・有効回収数 957 票（回収率 47.9%） 1 世帯につき複数回答も含む 完全無記入 8 票を除く 平成 27 年 1 月 15 日 消印分まで 【市職員等】 <ul style="list-style-type: none"> ・有効回収数 304 票（回収率 100.0%） 	【学生】 <ul style="list-style-type: none"> ・有効回収数 336 票（回収率 99.7%） 完全無記入 1 票を除く
	合計：有効回収数 1,597 票（回収率 59.7%）	

市民アンケート調査 調査項目

項目	NO	設問	備考
回答者属性	1-1	性別	
	1-2	年代	
	1-3	居住地	居住地域を回答
	1-4	職業	
	1-5	運転免許の有無	
	1-6	自家用車等の保有有無	
身の回りの交通環境について	2-1	交通手段ごとの満足度	満足度(5段階)
	2-2	交通手段ごとの不満内容	
公共交通の利用について	3-1	よく利用する公共交通	交通手段及び最寄り駅(バス停)について
	3-2	普段利用する鉄道区間	
	3-3	普段利用するバス区間	
	3-4	運賃の支払い方法	
	3-5	公共交通を利用する理由	複数回答(最大3つ)
	3-6	交通手段に求める改善点	複数回答(最大3つ)
将来の交通のあり方について	4-1	将来の交通手段の変化の影響	身の回りの公共交通が廃止 / 減便されたと仮定
	4-2	交通手段の変化に伴う外出行動の変化	
	4-3	将来の交通環境に対する要望	複数回答(最大3つ)
	4-4	市の負担に対する意向	
日常生活での「移動」について	5-1	外出目的別の主な目的地	通勤または通学 / 買い物 / 通院 / 趣味、余暇 / その他
	5-2	外出目的別の主な移動手段	
	5-3	外出目的別の移動頻度	

アンケート調査票

『下関市総合交通戦略に関する市民アンケート調査』へのご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、鉄道やバスなどの公共交通は市民の日常生活を支える重要な役割を担っていますが、利用者は年々減少しており、公共交通の利便性の低下が今後の課題となっております。さらに今後もさらなる人口減少や高齢化が進むと予想され、公共交通の重要性は高まるものと考えております。

そのような状況の中、本市では公共交通をより便利で使いやすいものにし、多くの皆さまにご利用していただくため、今後の公共交通のあり方（下関市総合交通戦略）を検討することとしております。

今回のアンケート調査は、下関市の公共交通の将来を考えるうえでの参考とさせていただくため、皆さまの公共交通の利用状況や問題点などのご意見を調査するものですので、ご協力をお願いいたします。

平成 26 年 11 月

【このアンケート調査について】

- ・このアンケート調査は、市民の皆さまの中から、2,000名を無作為に抽出し、調査票を送付しています。
- ・回答は無記名で、統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。
- ・この調査業務は株式会社パスコに委託しています。

【アンケートへの回答について】

- ・アンケートには、**封筒の宛名のご本人がお答え下さい**。ご本人による調査票への記入が困難な場合には、ご家族の方などの代筆をお願いいたします。
- ・**調査票は2部**ご用意しております。**宛名のご本人様以外のご家族の方で、調査にご協力頂ける場合は、合わせてご回答をお願いいたします**。

【返送の方法、期日について】

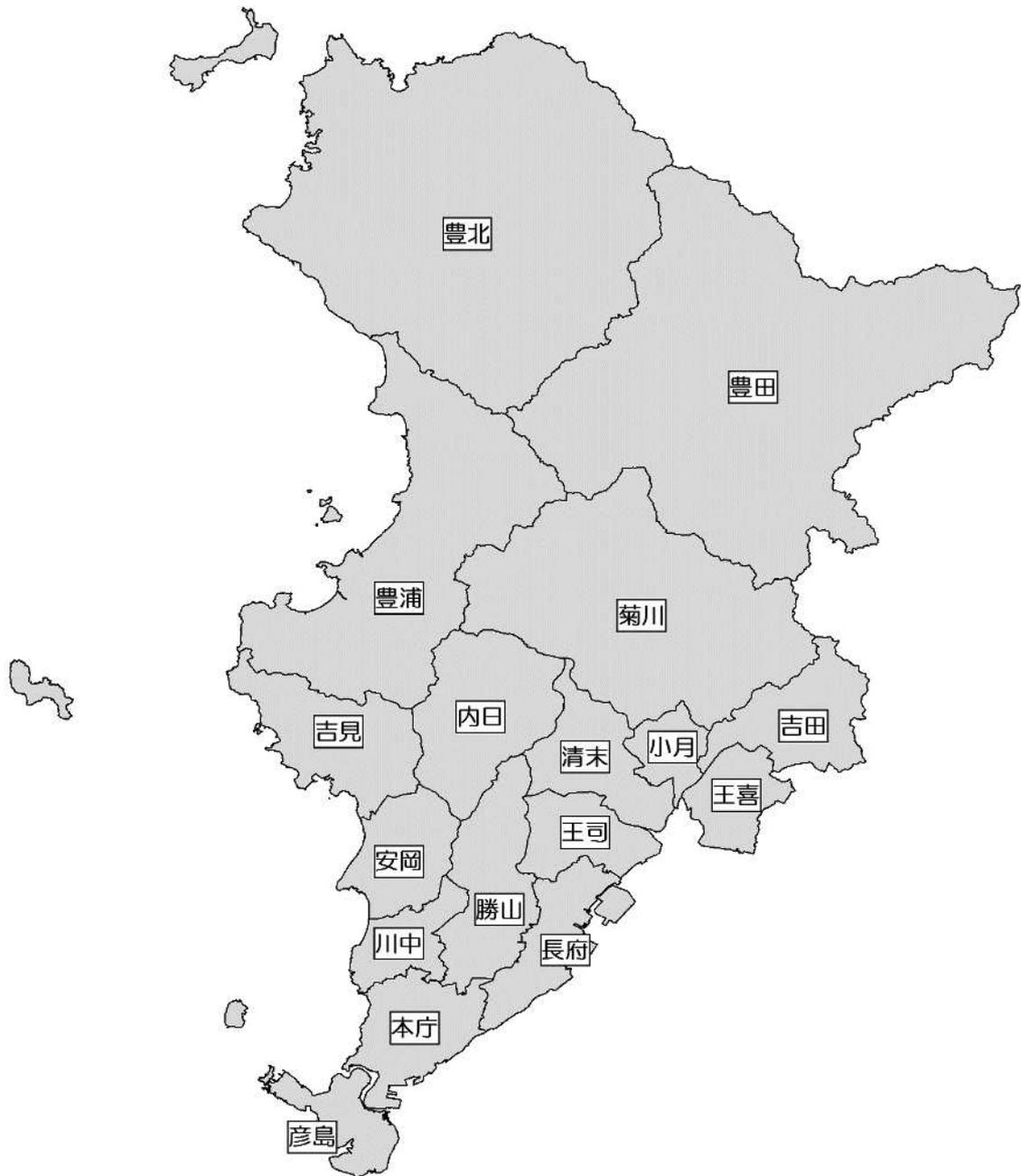
- ・調査票の記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れ、**切手を貼らずに、平成26年12月19日(金)までに、ポストに投函して下さい**。

【お問い合わせ先】

(調査に関するお問い合わせ) 下関市都市整備部交通対策課 担当：坪井、小村
〒750-8521 山口県下関市南部町1番1号
TEL (083) 231-1441 (直通)

(調査票の記入方法等に関するお問い合わせ)
株式会社パスコ 関西事業部 担当：高島 TEL (06) 6630-1939

(別紙) 下関市の各地区



下関市総合交通戦略に関する市民アンケート調査

1. あなたご自身についてお答え下さい(あてはまるものを○で囲み、()に具体名を記入して下さい)

- (1) 性別 男 女
- (2) 年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
- (3) 居住地 1.本庁 2.彦島 3.長府 4.王司 5.清末 6.小月 7.王喜 8.吉田 9.勝山
 10.内日 11.川中 12.安岡 13.吉見 14.菊川 15.豊田 16.豊浦 17.豊北
 ※上記の居住地が分からない場合は具体名をお書き下さい—
- (4) 職業 1. 高校生 2. 大学生・専門学校生 3. 会社員・公務員・団体職員等 4. 自営業
 5. 専業主婦(夫) 6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他 ()
- (5) 運転免許の有無 1. 有り 2. 無し
- (6) 自家用車の保有状況 1. 普通自動車 2. 自動二輪 3. 原付 4. 保有していない

2. あなたの身の回りの交通環境についてお聞かせ下さい

- (1) 下表に示す各交通手段の「満足度」について、該当する番号を一つ○で囲んで下さい。
- (2) 各交通手段について、不満と感じる内容のうち当てはまる番号を最大3つまで○で囲んで下さい。

交通手段	(1)満足度(一つだけ○)	(2)不満と感じる内容(最大3つまで○)
鉄道	1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	1. 駅まで遠い 2. 本数が少ない 3. 始発が遅い、終発が早い 4. 乗り継ぎが不便 5. 運賃が高い 6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒 7. 駅前に駐車場がない 8. 駅周辺に魅力がない 9. その他 ()
路線バス※ ※サンデン交通とブルーライン交通が運行するバス	1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	1. バス停まで遠い 2. 便数が少ない 3. 始発が遅い、終発が早い 4. 乗り継ぎが不便 5. 運賃が高い 6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒 7. 時間どおりにバスが来ない 8. 目的地までのバスがない 9. 行き先が分かりにくい 10. その他 ()
生活バス※ ※菊川、豊田、豊北において、市が運行するバス	1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	1. バス停まで遠い 2. 便数が少ない 3. 始発が遅い、終発が早い 4. 乗り継ぎが不便 5. 運賃が高い 6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒 7. 時間どおりにバスが来ない 8. 目的地までのバスがない 9. 行き先が分かりにくい 10. その他 ()
自転車	1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	1. 道路の幅が狭く走行しづらい 2. 段差が多く走行しづらい 3. 駅前などに駐輪場が少ない 4. 自転車道が少ない 5. その他 ()
徒歩	1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	1. 歩道が狭く歩きづらい 2. 歩道がなく危険な箇所が多い 3. 歩行者信号がなく危険な箇所が多い 4. 段差や階段が多く歩きづらい 5. その他 ()

3. 市内の公共交通（鉄道、路線バス、生活バス）の利用についてお聞かせ下さい

(1) 自家用車等での移動以外で、あなたが最も利用する公共交通（鉄道またはバス）は何ですか。

1) 最も利用する公共交通と最寄り駅(バス停)(1つだけ選び、最寄り駅名(バス停名)をご記入下さい)

1. 鉄道 2. 路線バス 3. 生活バス → 最寄り _____ 駅またはバス停

2) 自宅から最寄り駅(バス停)までの交通手段と所要時間（1つだけ選び、所要時間をご記入下さい）

1. 自動車(自分で運転) 2. 自動車(家族等の運転) 3. バイク
4. 自転車 5. 徒歩 6. その他(具体的に _____) → 概ねの所要時間
約 _____ 分

(2) 普段、よく利用される鉄道区間はどこですか。最も利用頻度の高い鉄道区間をお答え下さい。

1. よく利用する鉄道区間 → _____ 駅から _____ 駅まで

2. 鉄道は普段利用しない(鉄道を普段利用されない方は、2.を○で囲んで下さい)

(3) 普段、よく利用されるバス区間はどこですか。最も利用頻度の高いバス区間をお答え下さい。

1. よく利用するバス区間 → _____ バス停から _____ バス停まで

2. バスは普段利用しない(バスを普段利用されない方は、2.を○で囲んで下さい)

(4) 鉄道・バスを利用するときの運賃の主な支払い方法は何ですか。あてはまるもの全て選んで下さい。

1. 現金 2. バスカード 3. ICカード 4. 割引キップ 5. 通勤・通学定期
6. 学生フリー定期 7. 高齢者割引定期券 8. その他(_____)

(5) 公共交通を利用する理由は何ですか。最大3つまで選んで下さい。

1. 公共交通以外に移動手段がないから。
2. 鉄道やバスが外出に合ったルートや時間にあるから。
3. 鉄道やバスとの乗り継ぎが良いから。
4. 車を利用するよりも経済的に安いから。
5. 飲酒の機会があるから。
6. 目的地に駐車場がないから。
7. その他(具体的に: _____)

(6) 公共交通がどのように改善すれば、より利用したいと思いますか。最大3つまで選んで下さい。

1. 路線や時刻をわかりやすくする。
2. 自宅や目的地の近くに駅、バス停ができる。
3. 使いやすいルート、時間帯の鉄道やバスが運行される。
→ (鉄道・バス)が(_____ 方面)から(_____ 方面)へ(_____ 時頃)到着する便ができる。
4. 料金を安くする。→料金が(_____ 円/回)程度なら良い。
5. ICカード乗車券を導入して鉄道もバスも料金の支払いができる。
6. 車より早く目的地に着く。
7. 時刻表どおりに鉄道やバスが来る。
8. 自宅から最寄りの駅やバス停までの移動が容易になる。
9. 鉄道やバスとの乗り継ぎが良くなる。
10. 駅や車両をバリアフリー化する。
11. 改善しても利用したいと思わない。
12. その他(具体的に: _____)

4. 下関市における将来の交通のあり方についてお聞かせ下さい

- (1) もし将来、あなたの身近にある公共交通が、廃止されたり、本数が減るなどした場合、あなたの身の回りの生活にどのような影響がでますか。 1つだけ選んで下さい。

1. 自分自身の外出行動に影響が出る。
2. 外出行動に影響が出る人が家族にいる。
3. 自分自身及び家族の外出行動に影響が出る。
4. 影響はない。 → 「4. 影響はない」と答えた方は(3)～(4)へ

- (2) (1)で1または2、3とお答えされた方にお聞きします。公共交通が廃止されたり、本数が減るなどした場合、あなた、またはご家族の外出行動はどのように変化すると考えますか。

最も考えられる変化を1つだけ選んで下さい。

1. 徒歩または自転車などで可能な範囲を外出する。
2. タクシーを利用する。
3. 自動車（自分で運転）を利用する。
4. 家族等に送迎してもらう。
5. 外出を取り止めることが多くなる。
6. 転居することになる。
7. その他（具体的に：)

- (3) 10年後、現在のお住いで生活していたと仮定して、公共交通をもっと便利にしてほしいと思うことは何ですか。 最大3つまで選んで下さい。

1. 鉄道の運行本数などの充実
2. 駅やその周辺の再整備
3. まちなかのバス路線や便数の充実
4. 市の中心部と各地を結ぶ幹線バスの路線や便数の充実
5. 生活バスの路線や便数の充実
6. 時刻表どおりに発着するバス運行
7. 鉄道やバスとの接続の充実
8. 鉄道バスのICカード乗車券の導入
9. 駅や車両のバリアフリー化
10. 最寄り駅（バス停）の駐車場の充実
11. 最寄り駅（バス停）の駐輪場の充実
12. 安全・快適に通行するための歩道や自転車道の整備
13. 公共交通に対する市民意識の啓発
14. その他（具体的に：)

- (4) 公共交通を将来にわたり維持・確保していくため、市がお金を負担することについてどう思いますか。 1つだけ選んで下さい。

1. 必要である。
2. ある程度は仕方がない。
3. 必要ない。
4. その他（具体的に：)

5. あなたの日常生活での「移動」についてお聞かせ下さい

通勤、通学や買い物など、以下に示す(1)～(5)の行動のうち、あなたが日常生活で行っている移動について、それぞれ主な目的地、移動手段及び頻度を具体的に書き下さい。

<p>1 主な目的地 (地区) 以下の選択肢から、目的地の所在する地区を一つだけ選択して番号を記入して下さい。</p> <p>①本庁 ②彦島 ③長府 ④王司 ⑤清末 ⑥小月 ⑦王喜 ⑧吉田 ⑨勝山 ⑩内日 ⑪川中 ⑫安岡 ⑬吉見 ⑭菊川 ⑮豊田 ⑯豊浦 ⑰豊北 ⑱九州方面 ⑲長門市 ⑳その他※具体的に記入</p> <p>※目的地(地区)の詳細については別紙「下関市の各地区」をご参照下さい。</p>	<p>2 主な移動手段 以下の選択肢から、目的地までの主な交通手段を一つだけ選択して番号を記入して下さい。</p> <p>①鉄道 ②路線バス ③生活バス ④タクシー ⑤自動車(自分で運転) ⑥家族等による送迎 ⑦バイク ⑧自転車 ⑨徒歩 ⑩その他※具体的に記入</p>	<p>3 移動頻度 移動のおよその頻度(週または月に〇回行く)を具体的に記入して下さい。</p>
---	---	---

※日常生活で行っている行動についてのみお答え下さい

行動	1 主な目的地(地区)	2 主な移動手段	3 利用頻度
記入例 (通勤のため、本庁まで鉄道で移動している場合)	(主な目的地)一つだけ選択 ①	(主な移動手段)一つだけ選択 ①	週に 5 回 または 月に _____ 回
(1) 通勤、通学	(主な目的地)一つだけ選択	(主な移動手段)一つだけ選択	週に _____ 回 または 月に _____ 回
(2) 買い物	(主な目的地)一つだけ選択	(主な移動手段)一つだけ選択	週に _____ 回 または 月に _____ 回
(3) 通院	(主な目的地)一つだけ選択	(主な移動手段)一つだけ選択	週に _____ 回 または 月に _____ 回
(4) 趣味、余暇	(主な目的地)一つだけ選択	(主な移動手段)一つだけ選択	週に _____ 回 または 月に _____ 回
(5) その他 具体的に ()	(主な目的地)一つだけ選択	(主な移動手段)一つだけ選択	週に _____ 回 または 月に _____ 回

6. 下関市の公共交通に関するご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書き下さい

*** ご協力ありがとうございました ***

(調査に関するお問い合わせ) 下関市役所都市整備部交通対策課 担当: 坪井, 小村 TEL (083) 231-1441 (直通)
 (調査票の記入方法等に関するお問い合わせ) 株式会社パスコ関西事業部 担当: 高畠 TEL (06) 6630-1939

3 . 調査結果

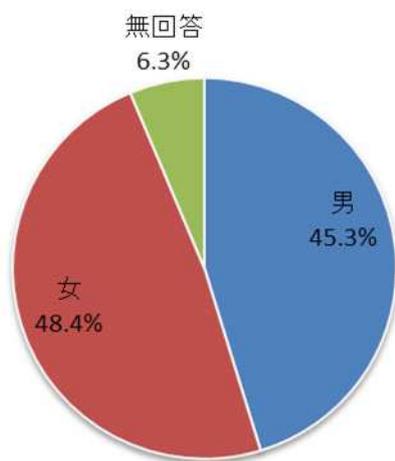
3 - 1 . 回答者属性等

回答者の性別は、男性 45.3%、女性が 48.4%、無回答 6.3%となる。

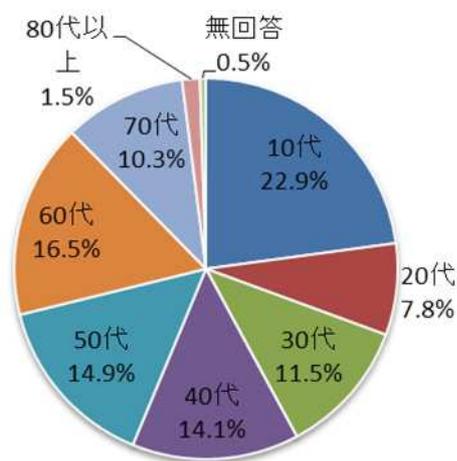
回答者の年齢は、学生アンケート回答者 336 人を含む 10 代が 365 人(22.9%)と最も多く、次いで 60 代 (264 人、16.5%)、50 代 (238 人、14.9%) となる。

20 代が 10%以下となり、他の年代に対して比較的少なくなっている。

性別			年代					
性別	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)				割合(%)	
			男	女	無回答	総計		
男	723	45.3%	172	189	4	365	22.9%	
女	773	48.4%	49	65	10	124	7.8%	
無回答	101	6.3%	89	91	4	184	11.5%	
総計	1,597	100.0%	118	97	10	225	14.1%	
			50代	116	110	12	238	14.9%
			60代	104	137	23	264	16.5%
			70代	66	73	26	165	10.3%
			80代以上	8	10	6	24	1.5%
			無回答	1	1	6	8	0.5%
			総計	723	773	101	1,597	100.0%



性別割合



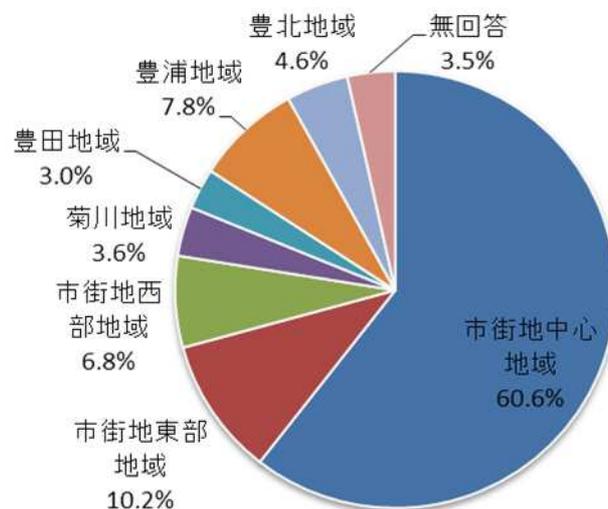
年代割合

回答者の居住地は、市街地中心地域が最も多く 967 人、60.6%を占める。市街地中心地域内では本庁が 323 人と最も多く、次いで長府（174 人）となる。

次いで、市街地東部地域（163 人、10.2%）、豊浦地域（124 人、7.8%）、市街地西部地域（108 人、6.8%）となる。

居住地

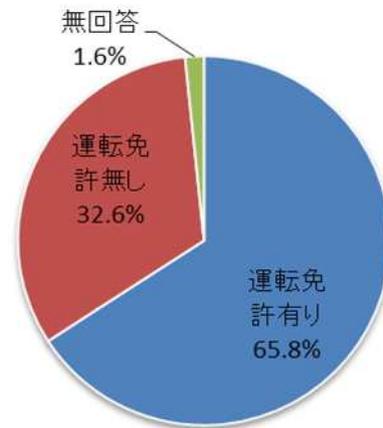
居住地		回答数(人)	割合(%)	人口割合(%)
市街地中心地域	本庁	323	20.2%	25.2%
	彦島	154	9.6%	10.2%
	長府	174	10.9%	10.6%
	勝山	157	9.8%	9.1%
	川中	159	10.0%	12.1%
	小計	967	60.6%	67.4%
市街地東部地域	王司	45	2.8%	2.7%
	清末	43	2.7%	2.4%
	小月	45	2.8%	2.5%
	王喜	19	1.2%	1.2%
	吉田	11	0.7%	0.6%
	小計	163	10.2%	9.5%
市街地西部地域	安岡	77	4.8%	5.3%
	吉見	25	1.6%	2.2%
	内日	6	0.4%	0.5%
	小計	108	6.8%	7.9%
菊川地域		58	3.6%	2.9%
豊田地域		48	3.0%	2.1%
豊浦地域		124	7.8%	6.6%
豊北地域		73	4.6%	3.7%
無回答		56	3.5%	-
総計		1,597	100.0%	100.0%



回答者の運転免許の保有状況は、運転免許有りが1,051人(65.8%)、運転免許無しが520人(32.6%)となり、運転免許有りが多数となる。

運転免許の保有状況

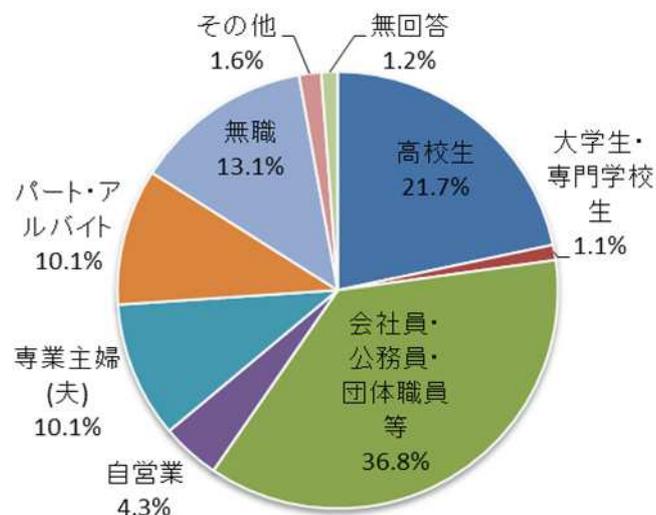
運転免許	回答数(人)	割合(%)
運転免許有り	1,051	65.8%
運転免許無し	520	32.6%
無回答	26	1.6%
総計	1,597	100.0%



回答者の職業は、会社員・公務員・団体職員等が587人(36.8%)と最も多く、次いで高校生(346人、21.7%)、無職(210人、13.1%)となる。

職業

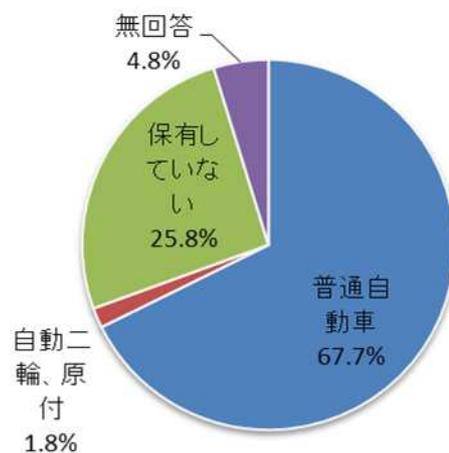
職業	回答数(人)	割合(%)
高校生	346	21.7%
大学生・専門学校生	18	1.1%
会社員・公務員・団体職員等	587	36.8%
自営業	69	4.3%
専業主婦(夫)	161	10.1%
パート・アルバイト	161	10.1%
無職	210	13.1%
その他	26	1.6%
無回答	19	1.2%
総計	1,597	100.0%



回答者の自家用車の所有状況は、普通自動車所有が 1,081 人 (67.7%) となり、普通自動車や自動二輪等を所有していない回答者は 412 人 (25.8%) となる。

自家用車の所有状況

自家用車の所有	回答数(人)	割合(%)
普通自動車	1,081	67.7%
自動二輪、原付	28	1.8%
保有していない	412	25.8%
無回答	76	4.8%
総計	1,597	100.0%



普通自動車には自動二輪、原付等の複数台保有を含む

3 - 2 . 身の回りの交通環境について

(1) 身の回りの交通環境についての満足度

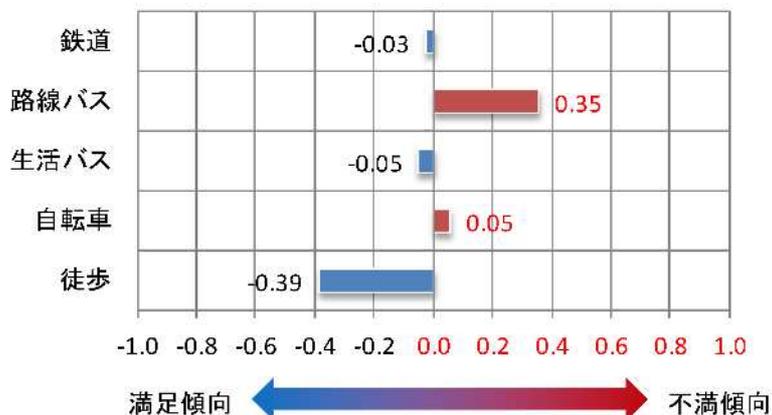
1) 交通手段ごとの満足度

回答者の身の回りの交通手段の満足度について、交通手段ごとの満足度平均値（満足度を「満足」= 1点～「不満」= 5点と数値化し、回答者ごとに平均した値、以下同じ）を算出すると、「鉄道」(2.97点)、「生活バス」(2.95点)、「自転車」(3.05点)は、ともに満足度の中央値(3点)に近似した値となる。

一方、「路線バス」は中央値を上回る3.35点となり、不満の傾向を示している。また「徒歩」は中央値を下回る2.61点となり、満足の傾向を示している。

交通手段別満足度平均値及び満足度傾向

交通手段	満足度平均値	満足度傾向	回答数(人)
鉄道	2.97	-0.03	1,529
路線バス	3.35	0.35	1,533
生活バス	2.95	-0.05	763
自転車	3.05	0.05	1,328
徒歩	2.61	-0.39	1,498



満足度傾向：満足度を、「満足」= 1点～「不満」= 5点と数値化し、平均値より3を差し引くことで満足度の傾向を表した。0を境に負の値が満足傾向、正の値が不満傾向を示している。

無回答を除く

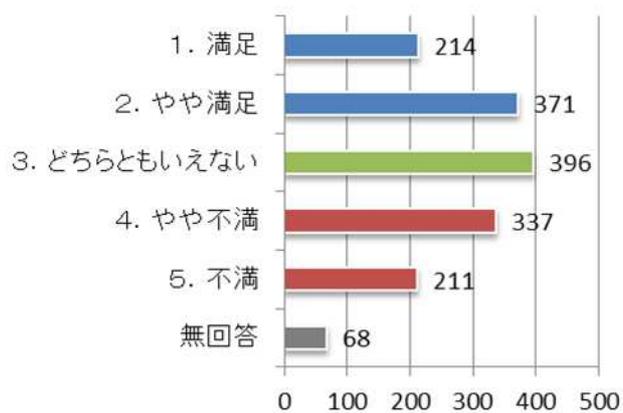
2) 鉄道

満足度

鉄道の満足度は、無回答を除いて「どちらともいえない」(396人、24.8%)が最も多く、次いで「やや満足」(371人、23.2%)、「やや不満」(337人、21.1%)となる。「満足」「やや満足」を合算した『満足層』は585人となり、「不満」「やや不満」を合算した『不満足層』(548人)を上回る。

鉄道の満足度

満足度	回答数 (人)	割合(%)	回答数 (人)	割合(%)	区分
1. 満足	214	13.4%	585	38.3%	満足層
2. やや満足	371	23.2%			
3. どちらともいえない	396	24.8%	396	25.9%	
4. やや不満	337	21.1%	548	35.8%	不満足層
5. 不満	211	13.2%			
無回答	68	4.3%	-	-	
総計	1,597	100.0%	1,529	100.0%	

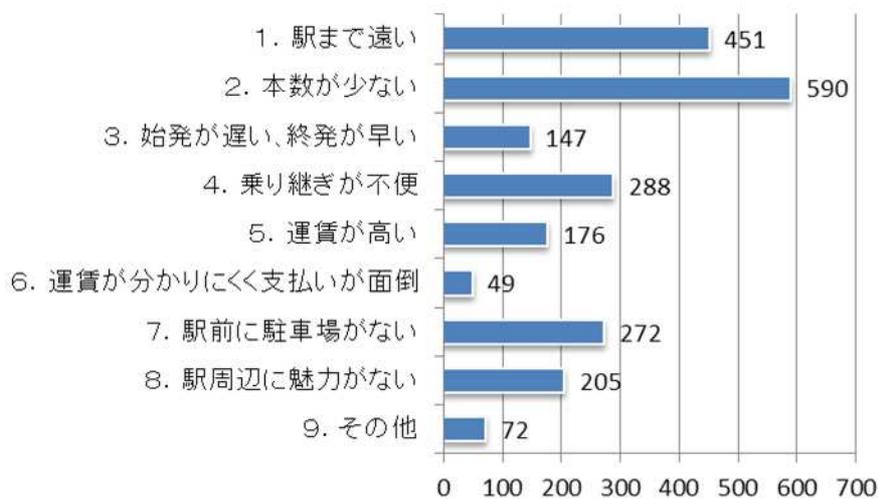


不満内容

鉄道の不満内容（複数回答）として、「本数が少ない」（36.9%）が最も多く、次いで「駅まで遠い」（28.2%）、「乗り継ぎが不便」（18.0%）、「駅前に駐車場がない」（17.0%）が挙げられた。

鉄道の不満内容（複数回答）

不満内容	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 駅まで遠い	451	28.2%
2. 本数が少ない	590	36.9%
3. 始発が遅い、終発が早い	147	9.2%
4. 乗り継ぎが不便	288	18.0%
5. 運賃が高い	176	11.0%
6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒	49	3.1%
7. 駅前に駐車場がない	272	17.0%
8. 駅周辺に魅力がない	205	12.8%
9. その他	72	4.5%
(回答者総数)	1,597	-



3) 路線バス

満足度

路線バスの満足度は、無回答を除いて「どちらともいえない」(420人、26.3%)が最も多く、次いで「やや不満」(403人、25.2%)、「やや不満足」(321人、20.1%)となる。「不満」「やや不満」を合算した『不満足層』は724人となり、「満足」「やや満足」を合算した『満足層』(389人)を上回る。

路線バスの満足度

満足度	回答数 (人)	割合(%)	回答数 (人)	割合(%)	区分
1. 満足	114	7.1%	389	25.4%	満足層
2. やや満足	275	17.2%			
3. どちらともいえない	420	26.3%	420	27.4%	
4. やや不満	403	25.2%	724	47.2%	不満足層
5. 不満	321	20.1%			
無回答	64	4.0%	-	-	
総計	1,597	100.0%	1,533	100.0%	



不満内容

路線バスの不満内容（複数回答）として、「運賃が高い」（44.3%）が最も多く、次いで「便数が少ない」（39.1%）、「時間どおりにバスが来ない」（20.8%）が挙げられた。

路線バスの不満内容（複数回答）

不満内容	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. バス停まで遠い	154	9.6%
2. 便数が少ない	625	39.1%
3. 始発が遅い、終発が早い	160	10.0%
4. 乗り継ぎが不便	167	10.5%
5. 運賃が高い	708	44.3%
6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒	86	5.4%
7. 時間どおりにバスが来ない	332	20.8%
8. 目的地までのバスがない	114	7.1%
9. 行き先が分かりにくい	127	8.0%
10. その他	110	6.9%
(回答者総数)	1,597	-



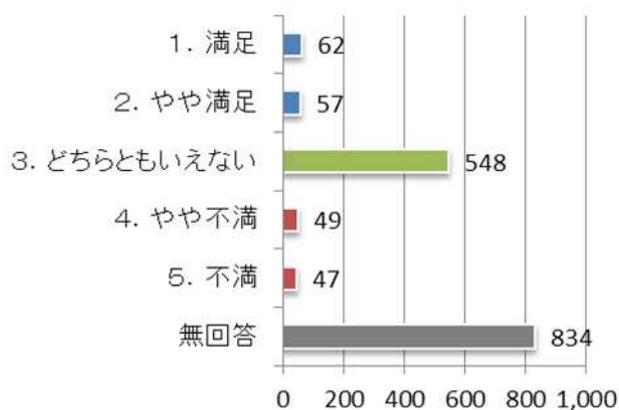
4) 生活バス

満足度

生活バスの満足度は、無回答を除いて「どちらともいえない」(548人、34.3%)が最も多く、次いで「満足」(62人、3.9%)、「やや満足」(57人、3.6%)となる。「満足」「やや満足」を合算した『満足層』は119人となり、「不満」「やや不満」を合算した『不満足層』(96人)を上回る。

生活バスの満足度

満足度	回答数 (人)	割合(%)	回答数 (人)	割合(%)	区分
1. 満足	62	3.9%	119	15.6%	満足層
2. やや満足	57	3.6%			
3. どちらともいえない	548	34.3%	548	71.8%	
4. やや不満	49	3.1%	96	12.6%	不満足層
5. 不満	47	2.9%			
無回答	834	52.2%	-	-	
総計	1,597	100.0%	763	100.0%	

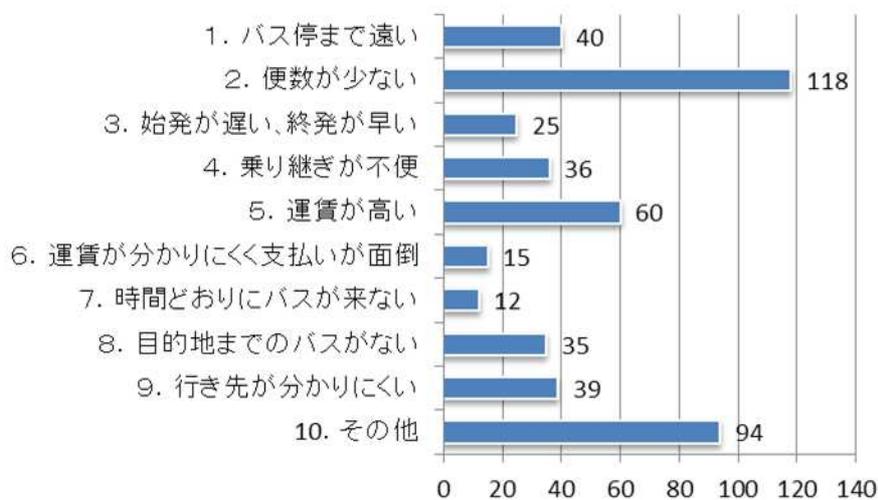


不満内容

生活バスの不満内容(複数回答)として、「便数が少ない」(7.4%)が最も多く、次いで「その他」(5.9%)、「運賃が高い」(3.8%)が挙げられた。

生活バスの不満内容(複数回答)

不満内容	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. バス停まで遠い	40	2.5%
2. 便数が少ない	118	7.4%
3. 始発が遅い、終発が早い	25	1.6%
4. 乗り継ぎが不便	36	2.3%
5. 運賃が高い	60	3.8%
6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒	15	0.9%
7. 時間どおりにバスが来ない	12	0.8%
8. 目的地までのバスがない	35	2.2%
9. 行き先が分かりにくい	39	2.4%
10. その他	94	5.9%
(回答者総数)	1,597	-



5) 自転車

満足度

自転車の満足度は、無回答を除いて「どちらともいえない」(526人、32.9%)が最も多く、次いで「やや不満」(310人、19.4%)、「やや満足」(206人、12.9%)となる。「不満」「やや不満」を合算した『不満足層』は445人となり、「満足」「やや満足」を合算した『満足層』(357人)を上回る。

自転車の満足度

満足度	回答数 (人)	割合(%)	回答数 (人)	割合(%)	区分
1. 満足	151	9.5%	357	26.9%	満足層
2. やや満足	206	12.9%			
3. どちらともいえない	526	32.9%	526	39.6%	
4. やや不満	310	19.4%	445	33.5%	不満足層
5. 不満	135	8.5%			
無回答	269	16.8%	-	-	
総計	1,597	100.0%	1,328	100.0%	

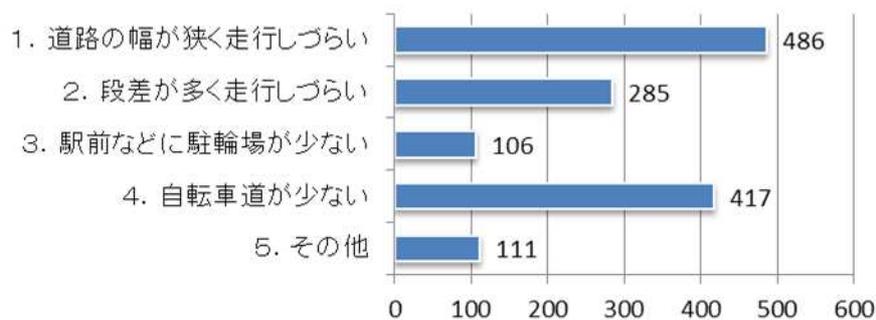


不満内容

自転車の不満内容（複数回答）として、「道路の幅が狭く走行しづらい」（30.4%）が最も多く、次いで「自転車道が少ない」（26.1%）、「段差が多く走行しづらい」（17.8%）が挙げられた。

自転車の不満内容（複数回答）

不満内容	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 道路の幅が狭く走行しづらい	486	30.4%
2. 段差が多く走行しづらい	285	17.8%
3. 駅前などに駐輪場が少ない	106	6.6%
4. 自転車道が少ない	417	26.1%
5. その他	111	7.0%
(回答者総数)	1,597	-



6) 徒歩

満足度

徒歩の満足度は、無回答を除いて「どちらともいえない」(478人、29.9%)が最も多く、次いで「やや満足」(362人、22.7%)、「満足」(315人、19.7%)となる。「満足」「やや満足」を合算した『満足層』は677人となり、「不満」「やや不満」を合算した『不満足層』(343人)を上回る。

徒歩の満足度

満足度	回答数 (人)	割合(%)	回答数 (人)	割合(%)	区分
1. 満足	315	19.7%	677	45.2%	満足層
2. やや満足	362	22.7%			
3. どちらともいえない	478	29.9%	478	31.9%	
4. やや不満	276	17.3%	343	22.9%	不満足層
5. 不満	67	4.2%			
無回答	99	6.2%	-	-	
総計	1,597	100.0%	1,498	100.0%	

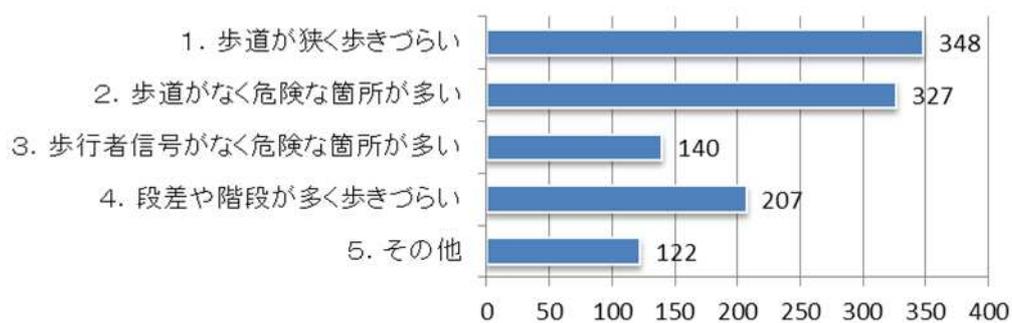


不満内容

徒歩の不満内容（複数回答）として、「歩道が狭く歩きづらい」（21.8%）が最も多く、次いで「歩道がなく危険な箇所が多い」（20.5%）、「段差や階段が多く歩きづらい」（13.0%）が挙げられた。

徒歩の不満内容（複数回答）

不満内容	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 歩道が狭く歩きづらい	348	21.8%
2. 歩道がなく危険な箇所が多い	327	20.5%
3. 歩行者信号がなく危険な箇所が多い	140	8.8%
4. 段差や階段が多く歩きづらい	207	13.0%
5. その他	122	7.6%
(回答者総数)	1,597	-



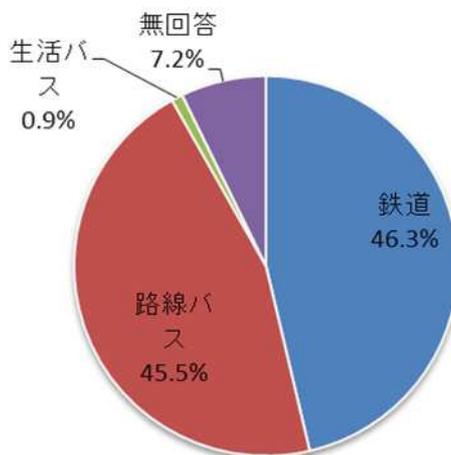
3 - 3 . 市内の公共交通（鉄道、路線バス、生活バス）の利用について

(1) 最も利用する公共交通

自家用車等での移動以外で、最も利用する公共交通は、「鉄道」(46.3%) と「路線バス」(45.5%) がほぼ同程度の割合となる。「生活バス」は 0.9%にとどまる。

最も利用する公共交通

最寄公共交通	回答数(人)	割合(%)
鉄道	740	46.3%
路線バス	727	45.5%
生活バス	15	0.9%
無回答	115	7.2%
総計	1,597	100.0%



最寄り鉄道駅

最寄鉄道駅	回答数(人)	最寄鉄道駅	回答数(人)	最寄鉄道駅	回答数(人)
新下関駅	139	安岡駅	24	福江駅	4
小月駅	112	吉見駅	19	小野田駅	3
長府駅	67	梶栗郷台地駅	16	人丸駅	3
下関駅	66	阿川駅	11	宇賀本郷駅	1
幡生駅	56	梅ヶ峠駅	9	厚狭駅	1
綾羅木駅	48	湯玉駅	8	前八幡駅	1
黒井村駅	36	長門粟野駅	6	長門古市駅	1
川棚温泉駅	30	特牛駅	5	二見駅	1
小串駅	27	埴生駅	4	梅ヶ峠駅	1
滝部駅	26	長門二見駅	4	幡生駅	1

最寄り路線バス停

最寄鉄道駅	回答数(人)	最寄鉄道駅	回答数(人)	最寄鉄道駅	回答数(人)
下関駅	34	幡生口	7	田の首	4
唐戸	22	一の宮	6	波高	4
城下町長府	19	栄町	6	安養寺	3
高磯	15	塩浜	6	海響館前	3
東駅	15	金比羅	6	菊川温泉	3
新下関駅	14	清末	6	吉田	3
前八幡	13	岡枝	5	厳島神社前	3
綾羅木	12	松原	5	江下	3
小月駅	12	中宇部	5	才川	3
新町4丁目	12	富任口	5	三井金属前	3
山の田	11	豊町県住前	5	山の谷	3
筋川	10	豊田町西市	5	秋根	3
後田	10	黄紺川	4	勝谷新町本通	3
千房	10	梶栗	4	松屋	3
垢田	9	熊野入口	4	松小田	3
迫	9	向井町民館前	4	上田中町菁莪	3
福浦口	9	垢田公会堂前	4	城下町長府鳥居前	3
丸山町	8	垢田小学校前	4	新熊野	3
御殿町	8	荒田口	4	新地市場前	3
大学町	8	山の口	4	神向	3
マリナランド	7	汐入町	4	青山	3
ロータリー	7	新町3丁目	4	中山神社前	3
横野	7	神田橋	4	中土居	3
宮の下	7	石町	4	中六波	3
山中	7	前田	4	弟子待町	3
新町1丁目	7	壇ノ浦	4	田部	3
幡生駅	7	長府駅前	4	稗田	3

最寄鉄道駅	回答数(人)	最寄鉄道駅	回答数(人)	最寄鉄道駅	回答数(人)
稗田口	3	山の田団地前	2	峠	2
浜浦南町	3	山中2丁目	2	檜原	2
豊城町	3	小月局前	2	入江口	2
満珠台	3	小月上市	2	農協会館前	2
パルク浜浦台	2	小野	2	彦島営業所	2
阿座上口	2	松風町	2	百合野	2
安岡駅前	2	上条	2	浜浦台	2
卯月峠	2	新垢田県住前	2	武久	2
円光寺	2	杉田2丁目	2	福浦二町	2
吉見	2	西山	2	豊町3丁目	2
金屋浜	2	青葉台入口	2	椋野	2
御裳川	2	千鳥ヶ丘団地前	2	了円寺	2
江の浦幼稚園前	2	大坪本町	2	老山公園口	2
黒井	2	中央町	2	川棚駅	2
込堂	2	中村	2	その他バス停	75
細江町	2	渡瀬	2		
材木町	2	東庄正門前	2		

回答数2以上のバス停を抽出している。

自宅から最寄り駅／バス停までの交通手段は、「徒歩」(66.2%)が大多数を占める。その他の交通手段では「自動車(自分で運転)」(10.0%)や「自動車(家族等の運転)」(9.1%)、「自転車」(7.8%)などが挙げられている。

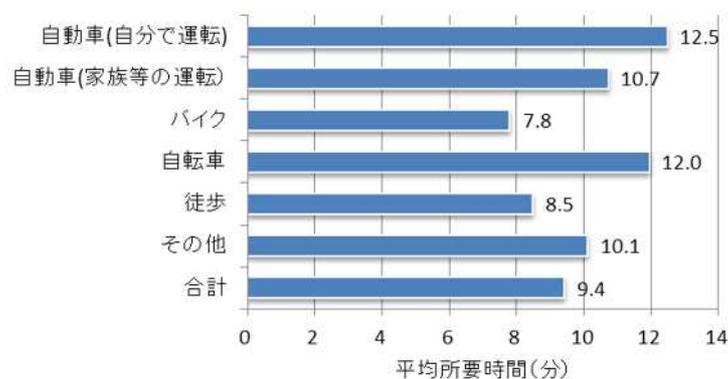
自宅から最寄り駅／バス停までの平均所要時間をみると、無回答を除く回答者全体で9.4分となる。交通手段別では「徒歩」で8.5分となり、最短で「バイク」の12.0分、最長で「自動車(自分で運転)」の12.5分となる。

最寄り駅／バス停までの交通手段と平均所要時間

最寄公共交通	回答数(人)	割合(%)	平均所要時間(分)
自動車(自分で運転)	160	10.0%	12.5
自動車(家族等の運転)	145	9.1%	10.7
バイク	12	0.8%	7.8
自転車	124	7.8%	12.0
徒歩	1,058	66.2%	8.5
その他	10	0.6%	10.1
無回答	88	5.5%	-
合計	1,597	100.0%	9.4



最寄り駅／バス停までの交通手段



最寄り駅／バス停までの平均所要時間

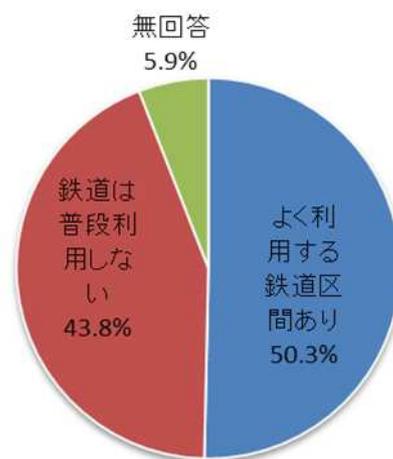
(2) よく利用する鉄道区間

普段よく利用する鉄道区間「あり」と答えた回答者は804人(50.3%)となる。

一方「鉄道は普段利用しない」と答えた回答者は699人(43.8%)となる。

普段よく利用する鉄道区間の有無

公共交通利用状況	回答数(人)	割合(%)
よく利用する鉄道区間あり	804	50.3%
鉄道は普段利用しない	699	43.8%
無回答	94	5.9%
総計	1,597	100.0%



居住地別普段よく利用する鉄道区間

市街地中心

鉄道区間	回答数(人)
下関 小倉	134
新下関 下関	65
長府 下関	39
綾羅木 下関	34
幡生 下関	30
新下関 小倉	20
下関 博多	13
新下関 博多	11
下関 新下関	7
長府 小倉	7
長府 幡生	7
幡生 小倉	7
下関 綾羅木	6
下関 安岡	6
下関 長府	6
新下関 長府	6
新下関 幡生	6
綾羅木 幡生	5
新下関 小月	5
綾羅木 小串	4
幡生 小月	4
下関 小串	3
下関 幡生	3
新下関 広島	3
幡生 長府	3
幡生 門司	3
下関 吉見	2
下関 小月	2
下関 門司	2
梶栗郷台地 下関	2
小倉 東京	2
長府 新下関	2
その他鉄道区間	32

市街地東部

鉄道区間	回答数(人)
小月 下関	30
小月 安岡	8
小月 長府	6
小月 幡生	5
小月 小倉	4
長府 小倉	4
下関 小月	3
長府 下関	3
長府 幡生	3
下関 小倉	2
小月 小野田	2
小月 新下関	2
小月 新山口	2
下関 長府	1
下関 博多	1
吉見 幡生	1
小月 厚狭	1
小月 西小倉	1
新下関 下関	1
新下関 小倉	1
川棚温泉 下関	1
長府 安岡	1
長府 新下関	1
幡生 下関	1

豊田

鉄道区間	回答数(人)
小月 下関	13
小月 小倉	3
小月 新下関	2
黒井村 小串	1
小月 幡生	1
滝部 幡生	1

市街地西部

鉄道区間	回答数(人)
安岡 下関	14
梶栗郷台地 下関	12
吉見 下関	9
吉見 小串	3
福江 下関	3
安岡 小串	2
安岡 幡生	2
梶栗郷台地 小串	2
梶栗郷台地 小倉	2
吉見 安岡	2
吉見 幡生	2
新下関 小倉	2
安岡 小倉	1
安岡 川棚温泉	1
梶栗郷台地 幡生	1
梶栗郷台地 門司	1
新下関 下関	1
新下関 山口	1

菊川

鉄道区間	回答数(人)
小月 下関	9
小月 小倉	3
小月 幡生	3
小月 新下関	2
小月 長府	2
下関 小倉	1
小月 新山口	1
小月 門司	1
埴生 新山口	1
埴生 西広島	1

市街地中心は回答数2以上の区間を抽出している。

豊浦地域

鉄道区間	回答数(人)
黒井村 下関	11
小串 下関	10
川棚温泉 下関	9
小串 滝部	7
川棚温泉 滝部	5
黒井村 滝部	3
川棚温泉 小倉	3
黒井村 小串	2
黒井村 小倉	2
川棚温泉 綾羅木	2
湯玉 下関	2
宇賀本郷 下関	1
下関 梅ヶ峠	1
黒井村 下内	1
黒井村 川棚温泉	1
黒井村 長府	1
小串 綾羅木	1
小串 小倉	1
小串 幡生	1
新下関 博多	1
川棚温泉 幡生	1
湯玉 滝部	1
梅ヶ峠 下関	1
梅ヶ峠 西小倉	1
梅ヶ峠 滝部	1
梅ヶ峠 幡生	1

豊北

鉄道区間	回答数(人)
滝部 下関	8
阿川 滝部	2
滝部 川棚温泉	2
滝部 幡生	2
長門粟野 滝部	2
阿川 下関	1
阿川 小串	1
阿川 長門	1
阿川 幡生	1
川棚温泉 滝部	1
長門粟野 下関	1
長門粟野 長門	1
長門二見 滝部	1
長門二見 幡生	1
特牛 下関	1
特牛 小串	1
特牛 幡生	1
二見 下関	1

居住地不明

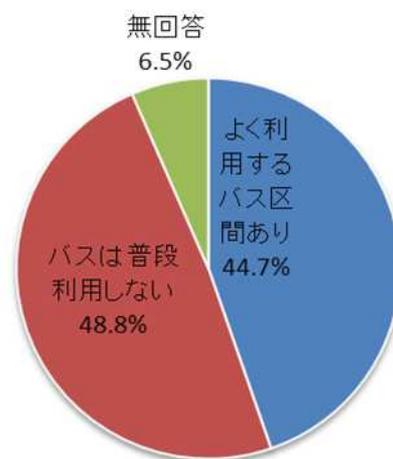
鉄道区間	回答数(人)
新下関 小倉	4
人丸 滝部	3
幡生 小倉	3
下関 小倉	2
埴生 下関	2
新下関 下関	2
綾羅木 小串	1
綾羅木 新下関	1
安岡 下関	1
下関 長府	1
下関 幡生	1
梶栗郷台地 小串	1
厚狭 長府	1
小野田 下関	1
小野田 幡生	1
埴生 幡生	1
新下関 柳井	1
長門古市 下関	1
幡生 下関	1
幡生 小串	1
幡生 長府	1
美祢 下関	1

(3) よく利用するバス区間

普段よく利用するバス区間「あり」と答えた回答者は714人(44.7%)となる。
一方「バスは普段利用しない」と答えた回答者は779人(48.8%)となる。

普段よく利用する鉄道区間の有無

公共交通利用状況	回答数(人)	割合(%)
よく利用するバス区間あり	714	44.7%
バスは普段利用しない	779	48.8%
無回答	104	6.5%
総計	1,597	100.0%



居住地別普段よく利用するバス区間

市街地中心

バス区間	回答数(人)	バス区間	回答数(人)	バス区間	回答数(人)
唐戸 下関駅	11	塩浜 下関駅	3	山中町 下関駅	2
筋川 下関駅	10	宮の下 下関駅	3	秋根 唐戸	2
下関駅 唐戸	8	宮の下 唐戸	3	勝谷団地前 唐戸	2
下関駅 老山公園口	8	金比羅 下関駅	3	松原 唐戸	2
小月駅 田部	8	垢田 下関駅	3	城下町長府 田部	2
新町4丁目 下関駅	8	山中 下関駅	3	新下関駅 東駅	2
東駅 下関駅	8	上田中町菁莪 下関駅	3	新下関駅 農協会館前	2
綾羅木 下関駅	7	城下町長府 下関駅	3	新坂田コミュニティ会館前 下関駅	2
山の田 下関駅	7	新下関駅 下関駅	3	新町1丁目 下関駅	2
新町3丁目 下関駅	6	長府駅前 唐戸	3	新町4丁目 唐戸	2
前八幡 下関駅	6	東駅 唐戸	3	神向 下関駅	2
丸山町 下関駅	5	波高 下関駅	3	杉田2丁目 ロータリー	2
後田 下関駅	5	豊城町 下関駅	3	西山 下関駅	2
新下関駅 唐戸	5	老山公園口 下関駅	3	青葉台入口 下関駅	2
迫 下関駅	5	綾羅木 東駅	2	中部学院前 東駅	2
稗田口 唐戸	5	一の宮 下関駅	2	長府駅前 田部	2
福浦口 下関駅	5	下関駅 山中2丁目	2	東庄正門前 下関駅	2
ロータリー 下関駅	4	下関駅 城下町長府	2	農協会館前 済生会病院前	2
一の宮 唐戸	4	下関駅 新町4丁目	2	農協会館前 唐戸	2
黄紺川 下関駅	4	下関駅 壇ノ浦	2	幡生駅 唐戸	2
下関駅 垢田	4	宮の下 西の端	2	幡生口 唐戸	2
御殿町 新下関駅	4	金屋浜 長府駅	2	稗田 唐戸	2
前八幡 唐戸	4	金比羅 唐戸	2	稗田中央 唐戸	2
長府駅前 松原	4	県営住宅前 関門医療センター前	2	彦島営 下関駅	2
弟子待町 下関駅	4	垢田 東駅	2	豊町県営住宅前 唐戸	2
マリンランド 下関駅	3	才川 下関駅	2	本村 下関駅	2
綾羅木 唐戸	3	細江町 唐戸	2	その他バス区間	238
栄町 下関駅	3	山の口 下関駅	2		

市街地中心は回答数2以上の区間を抽出している。

市街地東部

バス区間	回答数(人)
高磯 豊田町西市	4
小月駅 豊田町西市	4
松屋 小月駅	4
下関駅 唐戸	3
高磯 松原	3
清末 唐戸	3
小月駅 田部	2
小月駅 唐戸	2
小月局前 田部	2
神田橋 豊田町西市	2
千房 小月駅	2
千房 唐戸	2
中宇部 唐戸	2
その他バス区間	40
王司温泉 新下関駅	1
下関駅 天神バスセンター	1
下関駅 老山公園口	1
下木屋 小月駅	1
吉田支所前 小月駅	1
高磯 ゆめタウン長府	1
高磯 下関駅	1
高磯 長府駅	1
高磯 鳥飼前	1
高磯王司支所前 吉田	1
才川 松屋	1
材木町 長府駅	1
小月駅 ゆめタウン長府	1

市街地西部

バス区間	回答数(人)
小月駅 小月営業所	1
小月局前 唐戸	1
小月上市 田部	1
小月上市 豊田町西市	1
神田橋 小月駅	1
神田橋 唐戸	1
清末 下関駅	1
清末 小月駅	1
清末 長府駅	1
清末 田部	1
千房 ゆめタウン長府	1
千房 下関駅	1
千房 山の口	1
千房 豊田町西市	1
中宇部 下関駅	1
中宇部 新町4丁目	1
長府駅 松原	1
長府駅 前八幡	1
長府駅前 王司温泉	1
長府駅前 高磯	1
長府駅前 松原	1
唐戸 下関駅	1
唐戸 高磯	1
唐戸 小月営業所	1
唐戸 中宇部	1
東駅 入江口	1
豊田町西市 小月自衛隊前	1

バス区間	回答数(人)
安岡 唐戸	1
安岡駅前 唐戸	1
横野 下関駅	1
横野 黒井村	1
横野 西の端	1
河原 下関駅	1
梶栗 済生会病院前	1
梶栗 西の端	1
梶栗 唐戸	1
梶栗 武久	1
吉見 安岡駅	1
吉見 下関駅	1
吉見 唐戸	1
吉見駅前 安岡駅	1
古宿 安岡駅	1
松風町 細江町	1
水産大学校前 稗田中央	1
唐戸 下関駅	1
富任 山の田	1
富任 稗田口	1
富任口 下関駅	1
富任口 松風町入口	1
富任口 唐戸	1
福江 下関駅	1
豊松園 山の田	1

菊川

バス区間	回答数(人)
岡枝 小月駅	3
菊川温泉 豊田町西市	2
田部 小月駅	2
田部 豊田町西市	2
岡枝 下関駅	1
岡枝 小月	1
岡枝 豊田町西市	1
下関駅 老山公園口	1
込堂 小月駅	1
込堂 松原	1
小月駅 田部	1
上大野 小月駅	1
田部 松原	1
平田 田部	1
豊田町西市 西中山	1
夢団地前 小月駅	1

豊田

バス区間	回答数(人)
豊田町西市 小月駅	7
西市 小月駅	3
石町 小月駅	2
豊田町西市 小月	2
阿座上口 田部	1
綾羅木 唐戸	1
荒木 豊北高校前	1
城戸 小月駅	1
新下関駅 ゆめシティ	1
西市 飛松	1
石町 田部	1
長正司 豊田町西市	1
檜原 小月駅	1
浮石 長正司	1

豊浦

バス区間	回答数(人)
上石堂 川棚温泉	2
横道 川棚駅	1
下関駅 老山公園口	1
黒井村駅前 横野	1
済生会病院 綾羅木	1
芝崎 下関駅	1
小野 川棚温泉	1
滝部駅 豊北高校前	1
長府駅前 松原	1
唐戸 下関駅	1
豊洋台3丁目 川棚駅	1

豊北

バス区間	回答数(人)
荒田 二見	1
市場 西市	1
出合 豊田町西市	1
滝部 五千原	1
滝部駅 西市中央	1
滝部駅 島戸	1
滝部駅 豊北高校前	1
滝部下市 農協支所前	1
波原 二見	1
肥中 滝部下市	1
矢玉 二見	1

居住地不明

バス区間	回答数(人)
下関駅 老山公園口	4
山の田 下関駅	2
長府駅前 松原	2
ロータリー 山の田	1
安岡 唐戸	1
下関駅 大和町	1
下関駅 長府駅	1
宮の下 松原	1
垢田小学校前 松原	1
垢田小学校前 東駅	1
山の田 老山公園口	1

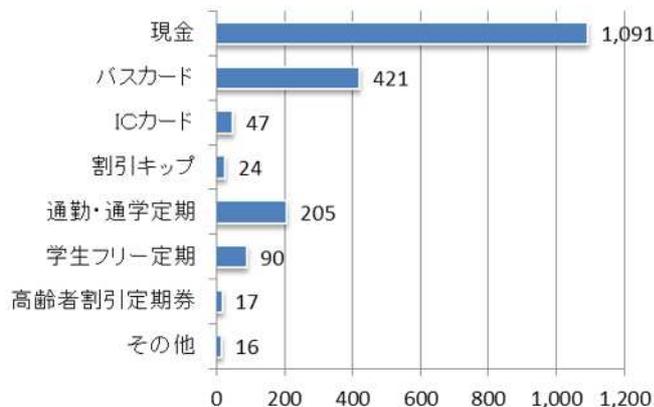
バス区間	回答数(人)
新垢田南町 下関駅	1
大学町 老山公園口	1
田中 西市中央	1
唐戸 下関駅	1
唐戸 秋根	1
美祿市立病院 西市中央	1
富任 下関駅	1

(4) 運賃の支払方法

鉄道またはバスの運賃の主な支払い方法は、「現金」が1,091人(68.3%)と最も多く、次いで「バスカード」(421人、26.4%)、「通勤・通学定期」(205人、12.8%)となる。

支払方法(複数回答)

支払い方法	回答数(人)	回答者総数に占める割合(%)
現金	1,091	68.3%
バスカード	421	26.4%
ICカード	47	2.9%
割引キップ	24	1.5%
通勤・通学定期	205	12.8%
学生フリー定期	90	5.6%
高齢者割引定期券	17	1.1%
その他	16	1.0%
(回答者総数)	1,597	-



(5) 公共交通を利用する理由

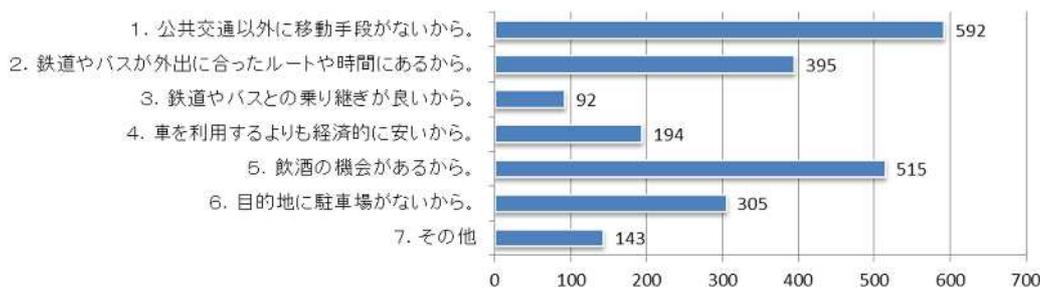
公共交通を利用する理由(複数回答)として、「公共交通以外に移動手段がないから」が592人(37.1%)と最も多く、次いで「飲酒の機会があるから」(515人、32.2%)、「鉄道やバスが外出に合ったルートや時間にあるから」(395人、24.7%)となる。

その他の理由として、「雨が降ったとき」「公共交通での通勤しか認められていない」「駐車場を考えなくてよい」「環境にやさしい交通機関であるから」などが挙げられた。

公共交通利用の理由(複数回答)

公共交通を利用する理由	回答数(人)	回答者総数に占める割合(%)
1. 公共交通以外に移動手段がないから。	592	37.1%
2. 鉄道やバスが外出に合ったルートや時間にあるから。	395	24.7%
3. 鉄道やバスとの乗り継ぎが良いから。	92	5.8%
4. 車を利用するよりも経済的に安いから。	194	12.1%
5. 飲酒の機会があるから。	515	32.2%
6. 目的地に駐車場がないから。	305	19.1%
7. その他	143	9.0%
(回答者総数)	1,597	-

無回答を除く



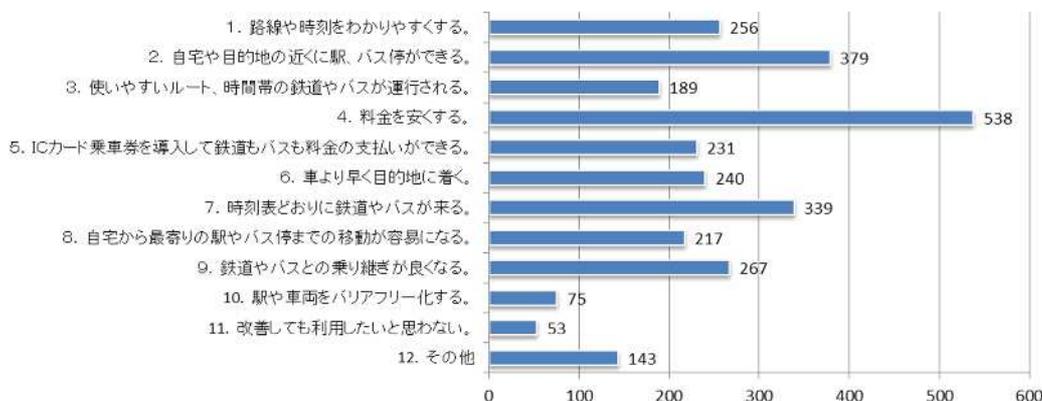
無回答を除く

(6) 公共交通の改善点

公共交通を利用する理由(複数回答)として、「料金を安くする」が538人(33.7%)と最も多く、次いで「自宅や目的地の近くに駅、バス停ができる」(379人、23.7%)、「時刻表どおりに鉄道やバスが来る」(339人、21.2%)となる。

公共交通の改善点(複数回答)

公共交通の改善点	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 路線や時刻をわかりやすくする。	256	16.0%
2. 自宅や目的地の近くに駅、バス停ができる。	379	23.7%
3. 使いやすいルート、時間帯の鉄道やバスが運行される。	189	11.8%
4. 料金を安くする。	538	33.7%
5. ICカード乗車券を導入して鉄道もバスも料金の支払いができる。	231	14.5%
6. 車より早く目的地に着く。	240	15.0%
7. 時刻表どおりに鉄道やバスが来る。	339	21.2%
8. 自宅から最寄りの駅やバス停までの移動が容易になる。	217	13.6%
9. 鉄道やバスとの乗り継ぎが良くなる。	267	16.7%
10. 駅や車両をバリアフリー化する。	75	4.7%
11. 改善しても利用したいと思わない。	53	3.3%
12. その他	143	9.0%
(回答者総数)	1,597	-

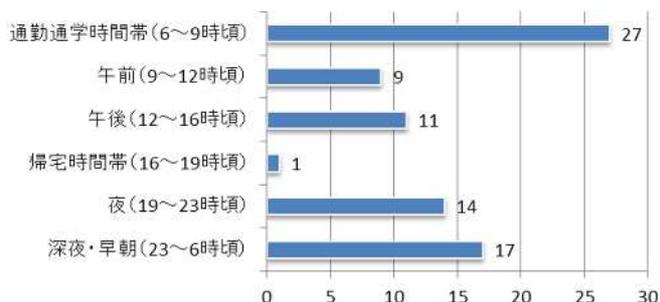


無回答を除く

希望する運行時間帯として、6時～9時頃の通勤通学時間帯が27人と最も多く挙げられた。

公共交通の改善点 - 希望する運行時間帯

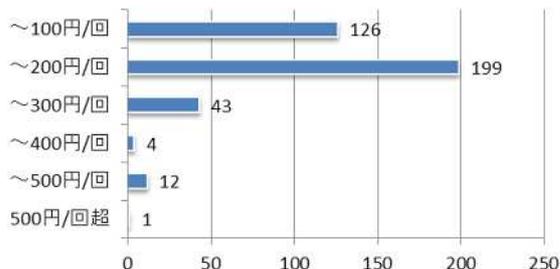
希望する運行時間帯	回答数(人)
通勤通学時間帯(6～9時頃)	27
午前(9～12時頃)	9
午後(12～16時頃)	11
帰宅時間帯(16～19時頃)	1
夜(19～23時頃)	14
深夜・早朝(23～6時頃)	17



希望する運賃として、100円/回～200円/回が199人と最も多く、次いで～100円/回が挙げられた。

改善点 - 希望する運賃

希望する運賃	回答数(人)
～100円/回	126
～200円/回	199
～300円/回	43
～400円/回	4
～500円/回	12
500円/回超	1
平均	186.5円/回



改善点 - 希望する鉄道またはバス区間

鉄道またはバス区間	回答数(人)	鉄道またはバス区間	回答数(人)	鉄道またはバス区間	回答数(人)	鉄道またはバス区間	回答数(人)
下関 長門	4	下関 新下	1	勝谷 新下関	1	川中 唐戸	1
下関駅 東駅	3	下関 新下関	1	勝谷 新下関駅	1	滝部 下関	1
彦島 唐戸	3	下関 川中	1	勝谷団地 済生会	1	滝部 角島	1
綾羅木 新下関	2	下関 長府	1	小串 下関	1	滝部 小串	1
綾羅木 幡生	2	下関 東駅	1	小串 川棚	1	滝部 幡生	1
下関 小月	2	下関 内日	1	小月 宇部	1	長府 下関	1
下関 滝部	2	下関駅 菊川	1	小月 下関	1	長府 垢田	1
秋根 唐戸	2	下関駅 筋川	1	小月 田部	1	長府 新下関駅	1
新下関 唐戸	2	下関駅 小月	1	小月 檜崎	1	長門 下関	1
新下関駅 川中豊町	2	下関駅 小倉駅	1	小月 豊田町	1	長門 下関駅	1
長府 小月	2	観音下 長府駅	1	小倉 下関	1	唐戸 武久	1
唐戸 長府	2	菊川 勝山	1	新下関 ゆめシティー	1	東駅 下関駅	1
東駅 長府	2	菊川 本庁	1	新下関 綾羅木	1	東駅 中部	1
宇部 下関	1	吉見 安岡済生会病院	1	新下関 川棚	1	東駅 豊町	1
下関 阿川	1	吉田 下関	1	新下関駅 長府	1	幡生 綾羅木	1
下関 安岡	1	狭間 唐戸	1	新下関駅 天神	1	富任 済生会	1
下関 山ノ田	1	九州 下関	1	新垢田 新下関	1	北浦 丸山	1
下関 山の田	1	形山 東駅	1	新垢田 北浦	1	本庁 勝山	1
下関 山陽	1	山の田 彦島	1	神玉 滝部	1	棕野 長府	1
下関 秋根記念公園	1	山陰 下関	1	折尾 幡生	1	老の山 大学町	1
下関 小倉	1	山陰 戸畑	1	川棚 下関	1		

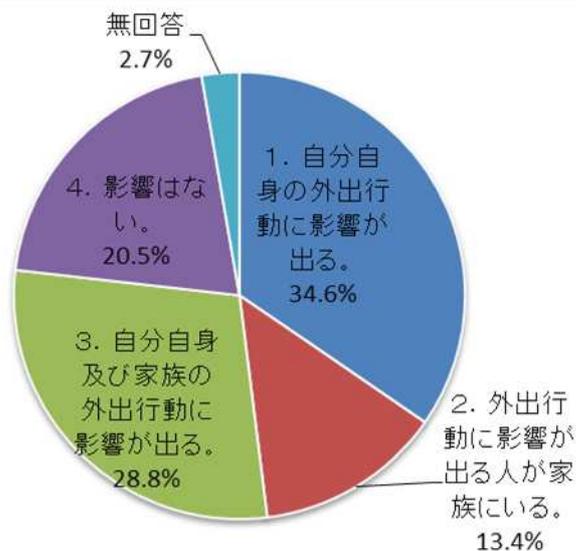
3 - 4 . 将来の交通のあり方について

(1) 公共交通の廃止等が身の回りの生活に及ぼす影響

仮に将来、回答者の身近にある公共交通が、廃止されたり、本数が減るなどした場合、身の回りの生活に影響が生じると考える回答者は 1,227 人となり、回答者全体の 76.8% を占める。回答者自身及び家族に影響が生じると考える回答者は 460 人 (28.8%) となる一方、影響はないと考える回答者は、327 人 (20.5%) となる。

公共交通の廃止等が身の回りの生活に及ぼす影響

将来の影響	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
1. 自分自身の外出行動に影響が出る。	553	34.6%	1,227	76.8%
2. 外出行動に影響が出る人が家族にいる。	214	13.4%		
3. 自分自身及び家族の外出行動に影響が出る。	460	28.8%		
4. 影響はない。	327	20.5%	327	20.5%
無回答	43	2.7%	43	2.7%
総計	1,597	100.0%	1,597	100.0%



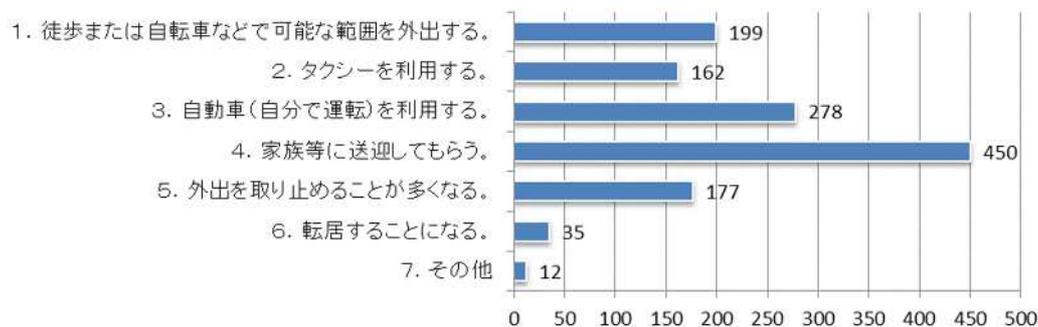
(2) 公共交通の廃止等による外出行動の変化

仮に将来、公共交通が廃止されたり、本数が減るなどした場合の回答者または家族の外出行動の変化は、「家族等に送迎してもらおう」が450人(28.2%)と最も多く、次いで「自動車(自分で運転)を利用する」(278人、17.4%)、「徒歩または自転車などで可能な範囲を外出する」(199人、12.5%)となる。

また、「外出を取り止めることが多くなる」と考える回答者も177人(11.1%)となり、「転居することになる」も35人(2.2%)が挙げている。

公共交通の廃止等による外出行動の変化

将来の変化	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 徒歩または自転車などで可能な範囲を外出する。	199	12.5%
2. タクシーを利用する。	162	10.1%
3. 自動車(自分で運転)を利用する。	278	17.4%
4. 家族等に送迎してもらおう。	450	28.2%
5. 外出を取り止めることが多くなる。	177	11.1%
6. 転居することになる。	35	2.2%
7. その他	12	0.8%
(回答者総数)	1,597	-



無回答を除く

(3) 将来の公共交通に対する要望

将来の公共交通に対する要望（複数回答）として、「鉄道の運行本数などの充実」が537人（33.6%）と最も多く、次いで「まちなかのバス路線や便数の充実」（436人、27.3%）、「市の中心部と各地を結ぶ幹線バスの路線や便数の充実」（331人、20.7%）、「安全・快適に通行するための歩道や自転車道の整備」（311人、19.5%）となる。

将来の公共交通に対する要望（複数回答）

将来への要望	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 鉄道の運行本数などの充実	537	33.6%
2. 駅やその周辺の再整備	289	18.1%
3. まちなかのバス路線や便数の充実	436	27.3%
4. 市の中心部と各地を結ぶ幹線バスの路線や便数の充実	331	20.7%
5. 生活バスの路線や便数の充実	244	15.3%
6. 時刻表どおりに発着するバス運行	279	17.5%
7. 鉄道やバスとの接続の充実	220	13.8%
8. 鉄道バスのICカード乗車券の導入	188	11.8%
9. 駅や車両のバリアフリー化	134	8.4%
10. 最寄り駅(バス停)の駐車場の充実	228	14.3%
11. 最寄り駅(バス停)の駐輪場の充実	55	3.4%
12. 安全・快適に通行するための歩道や自転車道の整備	311	19.5%
13. 公共交通に対する市民意識の啓発	71	4.4%
14. その他	70	4.4%
(回答者総数)	1,597	-



無回答を除く

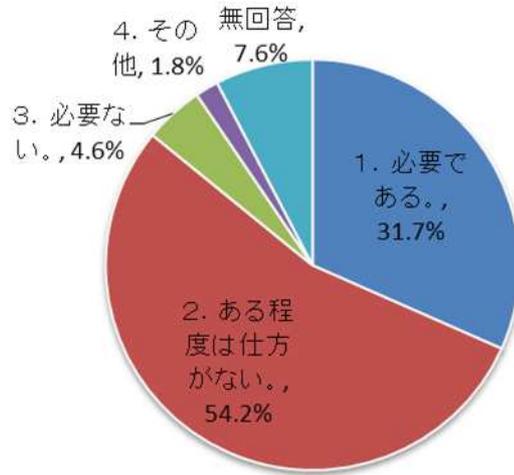
(4) 公共交通の維持・確保に係る市の負担について

公共交通を将来にわたり維持・確保していくため、市が費用等を負担することについては、「ある程度は仕方がない」が866人(54.1%)と最も多く、「必要である」(506人、31.7%)を含む肯定的な回答者が85.9%を占めている。

一方、「必要ない」は、74人(4.6%)にとどまっている。

公共交通の維持・確保に係る市の負担について

市の負担	回答数(人)	割合(%)
1. 必要である。	506	31.7%
2. ある程度は仕方がない。	866	54.2%
3. 必要ない。	74	4.6%
4. その他	29	1.8%
無回答	122	7.6%
総計	1,597	100.0%



3 - 5 . 日常生活での「移動」について

(1) 「通勤・通学」における主な目的地、手段、頻度等

通勤・通学における目的地は、「市街地中心」が最も多く、同一域外からは「市街地東部」「市街地西部」「豊浦」からの移動が多くみられる。次いで目的地が多い「市街地西部」は、同一域外からは「市街地中心」からの移動が多くみられる。

通勤・通学における手段は、「自動車(自分で運転)」(42.8%)が最も多く、「鉄道」(18.7%)及び「路線バス」(21.1%)の公共交通は合計で4割程度となる。

通勤・通学の頻度は、平均で19.9回/月となる。

通勤・通学 OD表

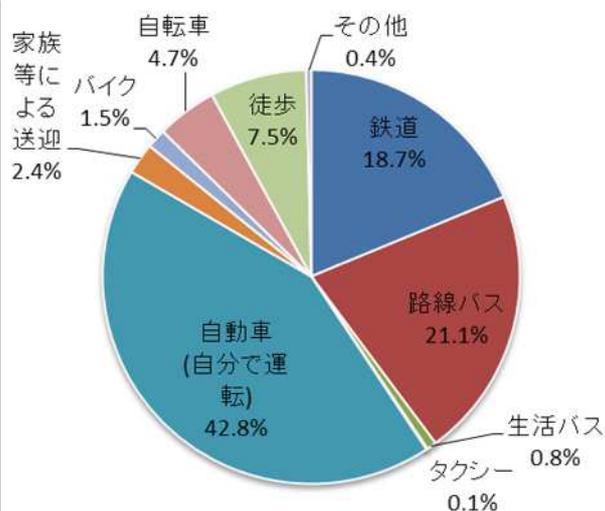
		目的地											
		市街地中心	市街地東部	市街地西部	菊川	豊田	豊浦	豊北	九州方面	長門市	その他	無回答	居住地別合計
居住地	1.市街地中心	516	17	36	12	9	18	4	22		18	8	660
	2.市街地東部	50	18	10	7	13	1	1	1		5	2	108
	3.市街地西部	35	1	12	2	1	9		1				61
	4.菊川	11	2	3	16	10					3		45
	5.豊田	6	2		3	20	1	1			1		34
	6.豊浦	23	1		5	2	23	20	2		2	1	79
	7.豊北	6				3	5	30					44
	8.無回答	19	1			3	3	3			7	1	37
	目的地別合計	666	42	61	45	61	60	59	26	0	36	12	

回答者(居住地無回答を除く) 1,020

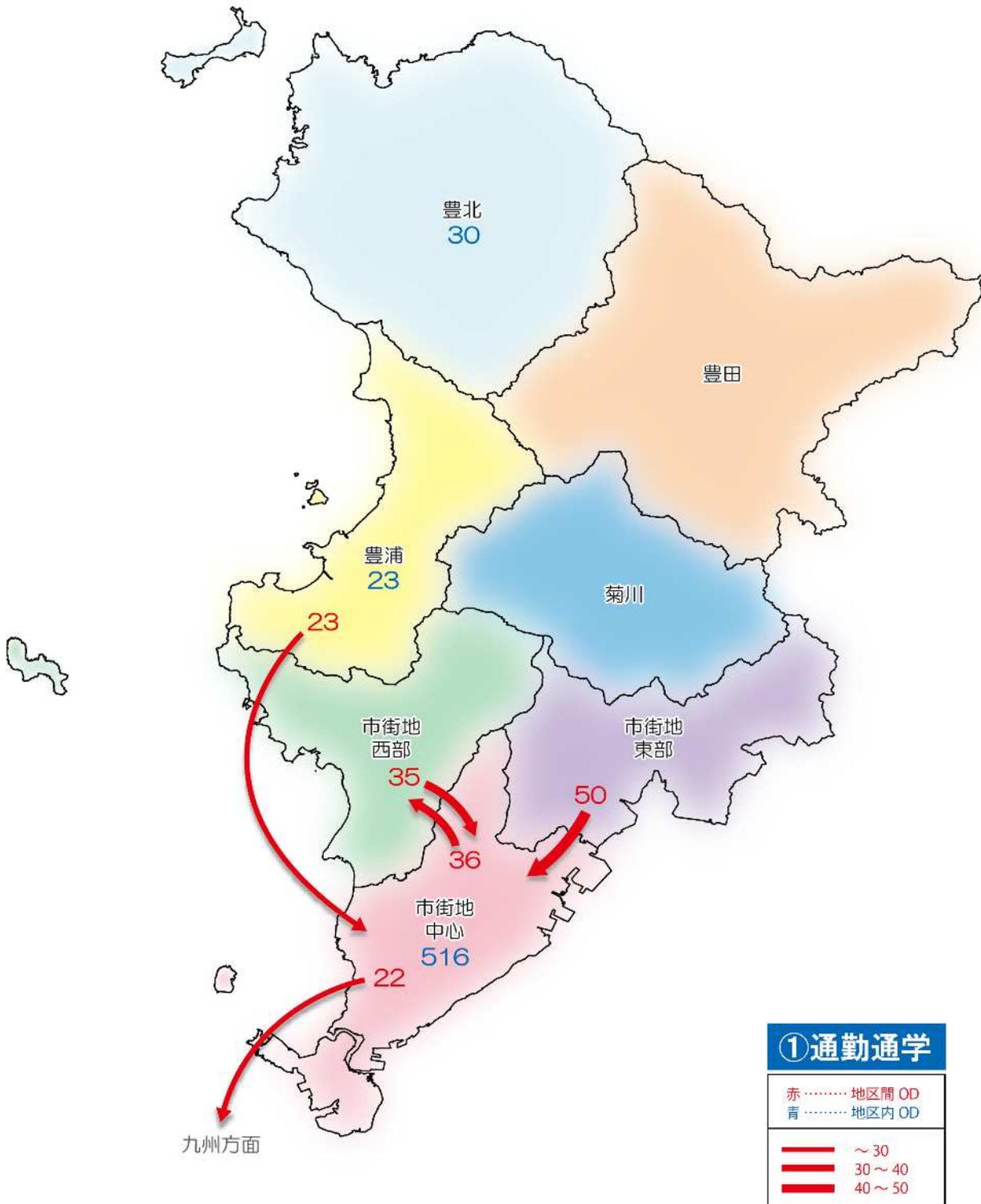
表中「赤枠」は、「通勤・通学」のOD平均以上の組み合わせ。(平均=総OD合計÷ODがある組み合わせ数)

通勤・通学 交通手段

交通手段	回答数(人)	割合(%)
鉄道	199	18.7%
路線バス	225	21.1%
生活バス	8	0.8%
タクシー	1	0.1%
自動車(自分で運転)	455	42.8%
家族等による送迎	26	2.4%
バイク	16	1.5%
自転車	50	4.7%
徒歩	80	7.5%
その他	4	0.4%
総計	1,064	100.0%



通勤・通学 交通流動



地区間 OD 及び地区内 OD は「通勤・通学」の OD 平均以上の組み合わせを記載している。

(2) 「買い物」における主な目的地、手段、頻度等

買い物における目的地は、「市街地中心」が最も多く、同一域外からは「市街地東部」「豊浦」「市街地西部」からの移動が多くみられる。次いで目的地が多い「市街地東部」は、同一域内の移動が大半を占める。また「市街地中心」から「九州方面」への移動も多くみられる。

買い物における手段は、「自動車(自分で運転)」(56.6%)が最も多く、「鉄道」(11.0%)及び「路線バス」(8.6%)の公共交通は合計で2割程度となる。

買い物の頻度は、平均で7.9回/月となる。

買い物 OD表

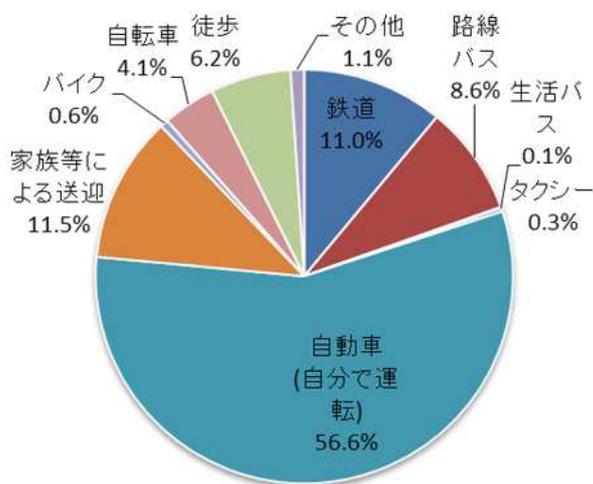
		目的地											
		市街地中心	市街地東部	市街地西部	菊川	豊田	豊浦	豊北	九州方面	長門市	その他	無回答	居住地別合計
居住地	1.市街地中心	591	5	6	1	2	1		70		16	19	711
	2.市街地東部	55	44	1	3				9		4	3	119
	3.市街地西部	33		29			2		10		2	3	79
	4.菊川	21	4	1	12		1		2				41
	5.豊田	19	1		2	9	1	1	3		1	1	38
	6.豊浦	42		1	1		30		9		2	2	87
	7.豊北	21		4			8	7	2	7	1	1	51
	8.無回答	20							2		6	6	34
	目的地別合計		802	54	42	19	11	43	8	107	7	32	35

回答者(居住地無回答を除く) 1,097

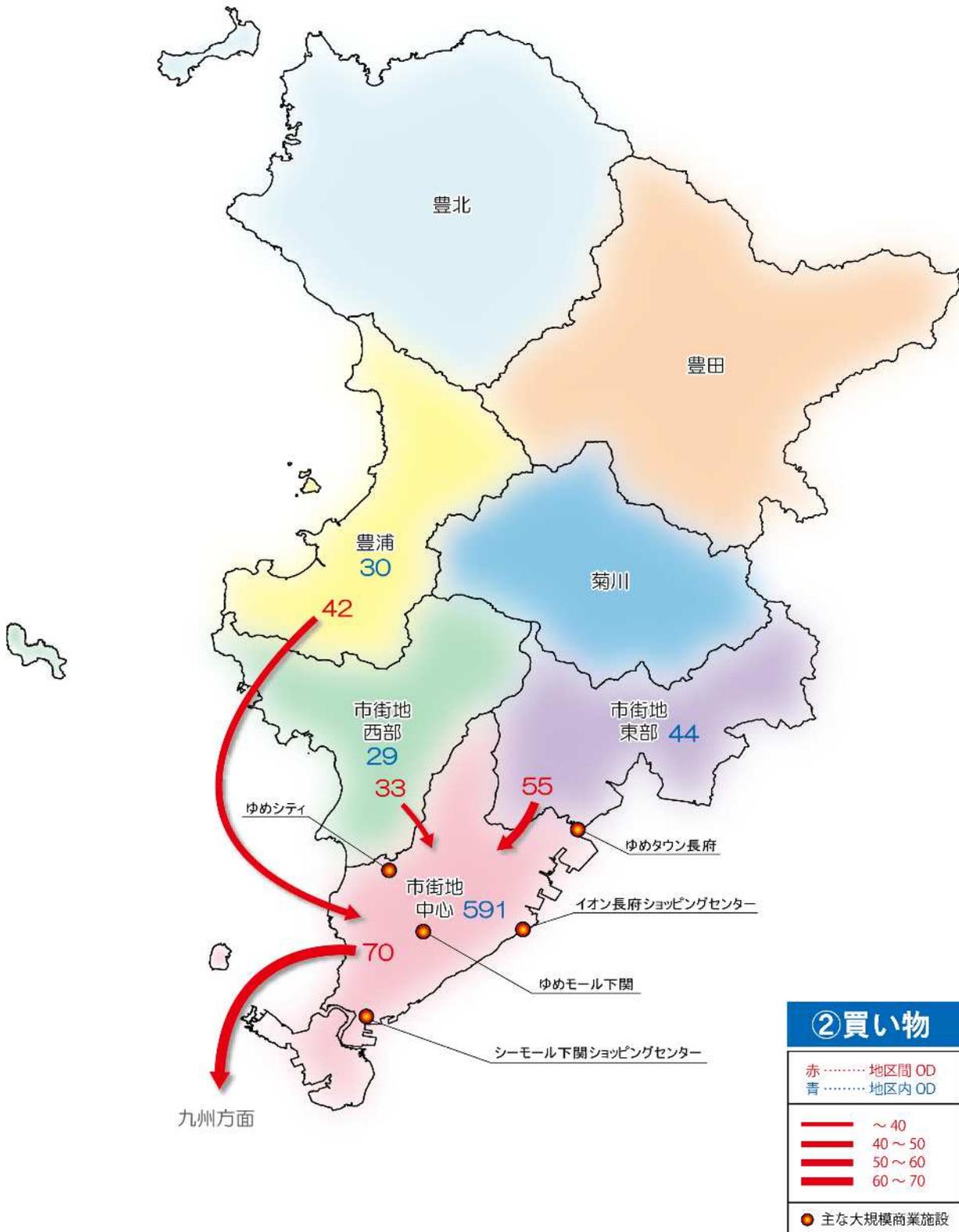
表中「赤枠」は、「買い物」のOD平均以上の組み合わせ。(平均 = 総OD合計 ÷ ODがある組み合わせ数)

買い物 交通手段

交通手段	回答数(人)	割合(%)
鉄道	125	11.0%
路線バス	98	8.6%
生活バス	1	0.1%
タクシー	3	0.3%
自動車(自分で運転)	645	56.6%
家族等による送迎	131	11.5%
バイク	7	0.6%
自転車	47	4.1%
徒歩	71	6.2%
その他	12	1.1%
総計	1,140	100.0%



買い物 交通流動



地区間 OD 及び地区内 OD は「買い物」の OD 平均以上の組み合わせを記載している。

(3) 「通院」における主な目的地、手段、頻度等

通院における目的地は、「市街地中心」が最も多く、同一域外からは「市街地東部」「市街地西部」からの移動が多くみられる。次いで目的地が多い「市街地西部」は、同一域外の「市街地中心」からの移動が最も多く、また「市街地東部」及び「豊浦」は同一域内の移動が大半を占める。

通院における手段は、「自動車(自分で運転)」(53.9%)が最も多く、「鉄道」(4.0%)及び「路線バス」(9.7%)の公共交通は合計で1割強程度となる。

通院の頻度は、平均で2.0回/月となる。

通院 OD表

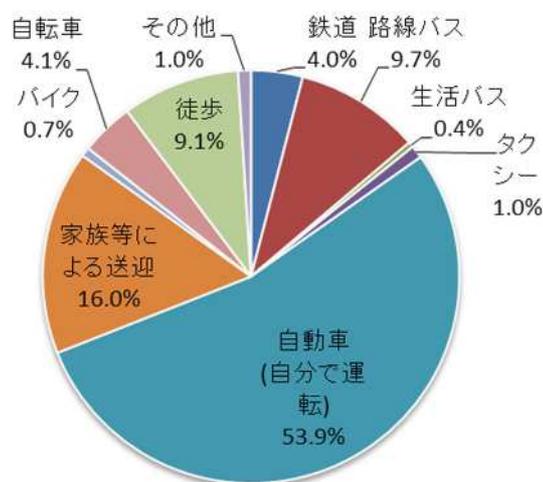
		目的地											
		市街地中心	市街地東部	市街地西部	菊川	豊田	豊浦	豊北	九州方面	長門市	その他	無回答	居住地別合計
居住地	1.市街地中心	343	8	36			6	1	7	1	12	20	434
	2.市街地東部	23	48	5			1		1		1	4	83
	3.市街地西部	19	2	25	1				2		1	3	53
	4.菊川	5	6	2	4								17
	5.豊田	8	2			8	1				2		21
	6.豊浦	10		21			24		1		1	1	58
	7.豊北	3		4			11	4		4	2		28
	8.無回答	11	1							1	5	3	21
目的地別合計		422	67	93	5	8	43	5	11	6	24	31	

回答者(居住地無回答を除く) 666

表中「赤枠」は、「通院」のOD平均以上の組み合わせ。(平均=総OD合計÷ODがある組み合わせ数)

通院 交通手段

交通手段	回答数(人)	割合(%)
鉄道	28	4.0%
路線バス	68	9.7%
生活バス	3	0.4%
タクシー	7	1.0%
自動車(自分で運転)	377	53.9%
家族等による送迎	112	16.0%
バイク	5	0.7%
自転車	29	4.1%
徒歩	64	9.1%
その他	7	1.0%
総計	700	100.0%



通院 交通流動



地区間 OD 及び地区内 OD は「通院」の OD 平均以上の組み合わせを記載している。

(4) 「趣味・余暇」における主な目的地、手段、頻度等

趣味・余暇における目的地は、「市街地中心」が最も多く、同一域外からは「市街地東部」「豊浦」「市街地西部」「豊北」からの移動が多くみられる。次いで市外の「九州方面」を目的地として、「市街地中心」「市街地東部」「市街地西部」「豊浦」からの移動が多くみられる。

趣味・余暇における手段は、「自動車(自分で運転)」(56.5%)が最も多く、「鉄道」(19.5%)及び「路線バス」(8.0%)の公共交通は合計で3割弱程度となる。

趣味・余暇の頻度は、平均で4.0回/月となる。

趣味・余暇 OD表

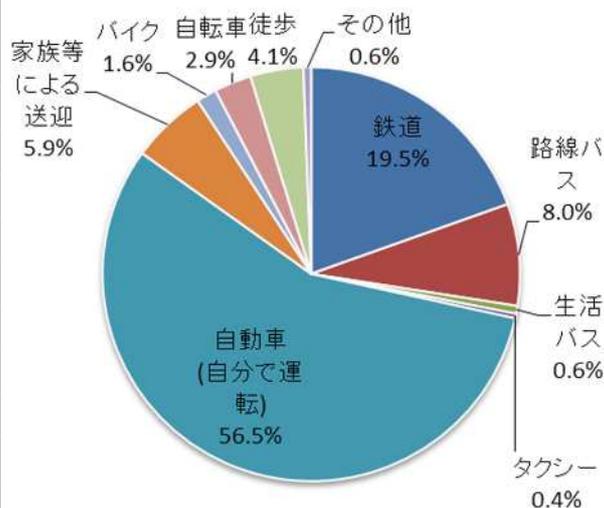
		目的地											居住地別合計
		市街地中心	市街地東部	市街地西部	菊川	豊田	豊浦	豊北	九州方面	長門市	その他	無回答	
居住地	1.市街地中心	299	8	8	6	5	10	8	149	1	20	13	527
	2.市街地東部	43	15		2	4			22	1	4	3	94
	3.市街地西部	16		4	2		1	1	18		2	2	46
	4.菊川	12	2		6	1			9		1		31
	5.豊田	13			1	3			5		4		26
	6.豊浦	23	1	3	1		12	2	18		1	2	63
	7.豊北	17	1	1			1	1	4	3			28
	8.無回答	11	1				1		5	1	1	2	22
目的地別合計		434	28	16	18	13	25	12	230	6	33	22	

回答者(居住地無回答を除く) 795

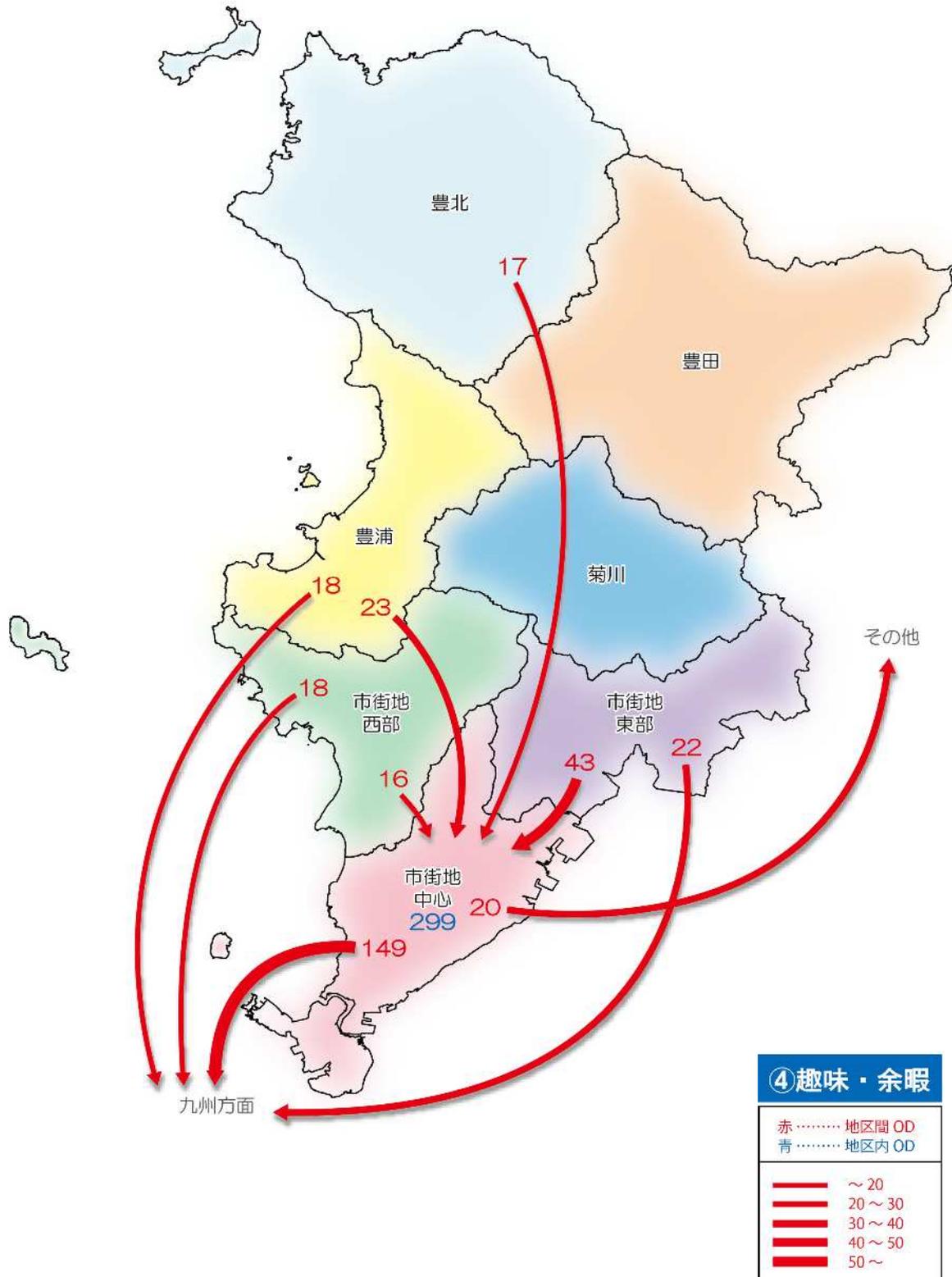
表中「赤枠」は、「趣味・余暇」のOD平均以上の組み合わせ。(平均=総OD合計÷ODがある組み合わせ数)

趣味・余暇 交通手段

交通手段	回答数(人)	割合(%)
鉄道	162	19.5%
路線バス	66	8.0%
生活バス	5	0.6%
タクシー	3	0.4%
自動車(自分で運転)	469	56.5%
家族等による送迎	49	5.9%
バイク	13	1.6%
自転車	24	2.9%
徒歩	34	4.1%
その他	5	0.6%
総計	830	100.0%



趣味・余暇 交通流動



地区間 OD 及び地区内 OD は「趣味・余暇」の OD 平均以上の組み合わせを記載している。

(5) 「その他目的」における主な目的地、手段、頻度等

その他目的として、「帰省」「お見舞い」などが挙げられた。その他目的における目的地は、「市街地中心」が最も多く、その他、「九州方面」や「その他(小郡市、山陽小野田市、田布施町など)」への移動が多くみられる。

その他目的における手段は、「自動車(自分で運転)」(53.8%)が最も多く、「鉄道」(17.9%)及び「路線バス」(9.7%)の公共交通は合計で3割弱程度となる。

その他目的の頻度は、平均で5.0回/月となる。

その他目的 OD表

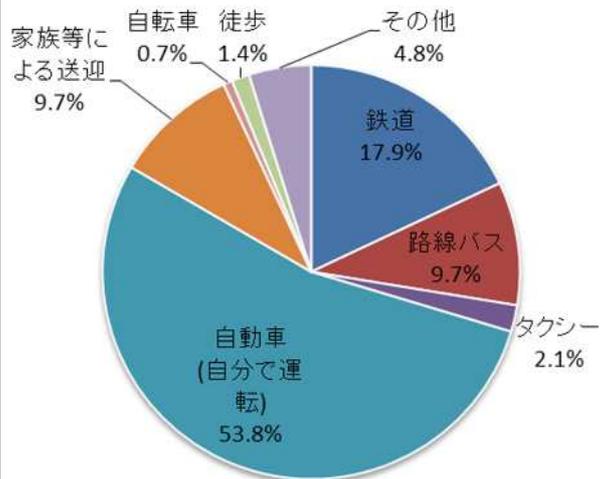
		目的地											
		市街地中心	市街地東部	市街地西部	菊川	豊田	豊浦	豊北	九州方面	長門市	その他	無回答	居住地別合計
居住地	1.市街地中心	40	2	4		2	3	6	15		10	4	86
	2.市街地東部	8	2		1	1			1		3	1	17
	3.市街地西部	11					1		1			1	14
	4.菊川	1		2							3		6
	5.豊田	1			2			1			1		5
	6.豊浦	4					2	1	3		1	1	12
	7.豊北	1					1		1	1			4
	8.無回答			1							1	1	3
	目的地別合計		66	4	7	3	3	7	8	21	1	19	8

回答者(居住地無回答を除く) 137

表中「赤枠」は、「その他目的」のOD平均以上の組み合わせ。(平均=総OD合計÷ODがある組み合わせ数)

その他目的 交通手段

交通手段	回答数(人)	割合(%)
鉄道	26	17.9%
路線バス	14	9.7%
生活バス		
タクシー	3	2.1%
自動車(自分で運転)	78	53.8%
家族等による送迎	14	9.7%
バイク		
自転車	1	0.7%
徒歩	2	1.4%
その他	7	4.8%
総計	145	100.0%



その他目的 交通流動



地区間 OD 及び地区内 OD は「その他目的」の OD 平均以上の組み合わせを記載している。

第2章．バス利用者ヒアリング調査

1．調査の目的

下関市内を運行する路線バス利用者の利用状況や問題点・改善要望等を把握し、今後のより良い公共交通体系を検討するための基礎資料とするため、バス利用者を対象としたヒアリング調査を実施した。

2．調査概要

調査は、市内4箇所のサンデン交通バス停において、乗車待ちのバス利用者を対象に、調査員による聞き取り調査を実施。

バス利用者ヒアリング調査概要

項目	概要
名称	バス利用者ヒアリング調査
調査方法	調査員による聞き取り調査
調査対象	サンデン交通バス利用者
調査箇所	下関駅バス停、新下関駅バス停、東駅バス停、城下町長府バス停
調査日時	平成27年2月4日(水)7:00～18:00 当日の天候：平均気温6.6度(最高7.5度、最低5.7度) 雨時々曇(降水量5.0mm/日)
調査数	合計462票 【下関駅バス停】 208票 【新下関駅バス停】 50票 【東駅バス停】 114票 【城下町長府バス停】 90票

バス利用者ヒアリング調査 調査項目

項目	NO	設問	備考
回答者属性	1-1	性別、年代	
	1-2	職業	
	1-3	居住地	市外も想定
	1-4	運転免許の保有有無	
	1-5	自家用車等の保有有無	
バス利用状況	2-1	目的	今回のバス利用について
	2-2	バス利用区間	今回のバス利用について 鉄道との乗継の場合はその区間も聞き取り
	2-3	バスを利用する理由	複数回答(最大3つ)
	2-4	バス運賃の支払い方法	普段のバス利用について
	2-5	自宅の最寄りバス停	バス停名及びバス停までの交通手段、所要時間
バスの利用意向	3	バスの満足度及び不満内容	満足度(5段階)
バス交通に対する要望	4	バス運行ルートに対する要望及び運行された場合の利用頻度	新しくバス運行を希望するルート (方面から 方面へ)
	5	その他現行のバス交通の改善点(運行ルートを除く)	複数回答(最大3つ) 運賃 / 運行ダイヤ / 乗り継ぎ環境 / バス停 / バス車両 / その他サービス 等 具体の要望を聞き取り

調査実施状況



下関駅バス停



新下関駅バス停



東駅バス停



城下町長府バス停

ヒアリング調査票

下関市バス利用者ヒアリング調査

調査箇所： _____ 日時： _____ 日 _____ 時 _____ 分 調査員： _____

1. あなたご自身について

性別 男 女 _____ 年齢 _____ 代 _____

居住地 下関市（町名・大字名 _____）
 その他（県・市町村名 _____）

運転免許 1. 有り 2. 無し

自家用車 1. 普通自動車 2. 自動二輪
 3. 原付 4. 保有していない

2. バスのご利用状況について

(1) 本日のバス利用の目的は？

1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 買い物
 5. 通院 6. 趣味、余暇 7. 観光
 8. その他（ _____ ）

(2) 本日のバスの利用区間は？

乗車バス停 _____ 乗り継ぎバス停 _____

降車バス停 _____

乗り継ぎ鉄道駅 _____ 駅から _____ 駅まで

(3) 本日バスを利用された理由は？（最大3つまで）

1. 他に移動手段がないため
 2. 外出に合ったルートや時間のバスがあるから
 3. 鉄道や他のバスとの乗り継ぎが良いから
 4. 車を利用するよりも経済的に安いから
 5. 飲酒の機会があるから
 6. 目的地に駐車場がないから
 7. その他（ _____ ）

(4) バス運賃の主な支払い方法は？

1. 現金 2. バスカード 3. 割引キップ
 4. 通勤・通学定期 5. 学生フリー定期
 6. 高齢者割引定期券 7. その他（ _____ ）

(5) ご自宅の最寄りバス停について

最寄りバス停名 _____

最寄りバス停までの交通手段及び所要時間

交通手段 1. 自動車（自分で運転）
 2. 自動車（家族等の運転）
 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩
 6. その他（ _____ ）

所要時間 約 _____ 分

（右上に続きます）

3. 現在のバス交通の「満足度」をお答え下さい。

満足度 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない
 4. やや不満 5. 不満

不満と感じる内容は？（最大3つまで）

1. バス停まで遠い 6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒
 2. 便数が少ない 7. 時間どおりにバスが来ない
 3. 始発が遅い、終発が早い 8. 目的地までのバスがない
 4. 乗り継ぎが不便 9. 行き先が分かりにくい
 5. 運賃が高い 10. その他（ _____ ）

4. 新しくバス運行を希望するルートはありますか。

_____ 方面から _____ 方面への新規運行を希望

新しいルートができれば、どのくらいの頻度で利用しますか？

1. 毎日 2. 週に5日以上 3. 週に3～4日
 4. 週に1～2回 5. 月に数日 6. 年に数回

5. 運行ルート以外で、バスが今後どのように改善されれば、より利用したいと思いますか？（最大3つまで）

1. 路線や時刻をわかりやすくする。
 2. 自宅や目的地の近くにバス停ができる。
 3. 自宅から最寄りのバス停までの移動が容易になる。
 4. 使いやすい時間帯のバスが運行される。
 5. 運行本数を多くする。
 6. 料金を安くする ▶ 運賃 _____ 円/回程度
 7. 鉄道・バス共通のICカード乗車券等の導入。
 8. 車より早く目的地に着く。
 9. 時刻表どおりにバスが来る。
 10. バスと鉄道との乗り継ぎが良くなる。
 11. バス同士の乗り継ぎが良くなる。
 12. 快適なバス停が整備される。
 13. バリアフリー化など乗りやすいバス車両の導入。
 14. 接客マナーがよいバス運転手が増える。
 15. その他（ _____ ）

*** ご協力ありがとうございました ***

（調査に関するお問い合わせ）下関市役所都市整備部交通対策課 TEL (083) 231-1441（直通）

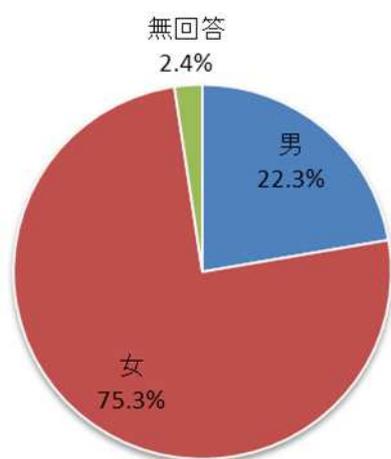
3 . 調査結果

3 - 1 . 回答者属性等

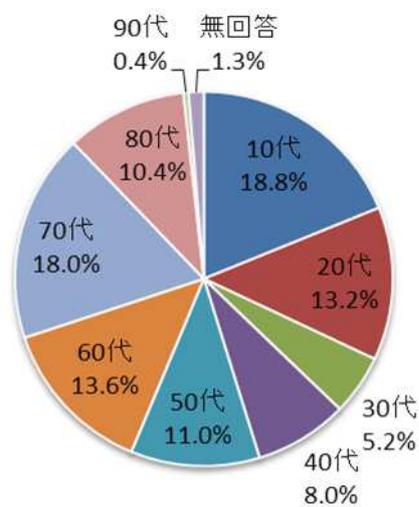
回答者の性別は、女性が75.3%を占める。

回答者の年齢は、10代が87人と最も多く、次いで70代の83人となっている。30代及び40代がともに10%以下となり、他の年代に対して比較的少なくなっている。

性別			年代					
性別	回答数(人)	割合(%)	年代	回答数(人)			割合(%)	
				男	女	無回答		合計
男	103	22.3%	10代	18	67	2	87	18.8%
女	348	75.3%	20代	15	45	1	61	13.2%
無回答	11	2.4%	30代	6	17	1	24	5.2%
総計	462	100.0%	40代	9	26	2	37	8.0%
			50代	13	38		51	11.0%
			60代	15	46	2	63	13.6%
			70代	15	67	1	83	18.0%
			80代	12	34	2	48	10.4%
			90代		2		2	0.4%
			無回答		6		6	1.3%
			総計	103	348	11	462	100.0%



性別割合



年代割合

回答者の居住地は、市街地中心地域が69.9%を占める。市街地中心地域内では本庁が最も多く、次いで長府となる。その他地域では、市外の九州地方居住者が最も多く、ついで市街地西部地域となる。

調査バス停別では、本庁、彦島及びその他市内居住者は下関駅バス停の利用が過半数を占める。また勝山居住者は新下関駅バス停、市外居住者は東駅バス停、長府居住者は城下町長府バス停の利用が比較的多くなっている。

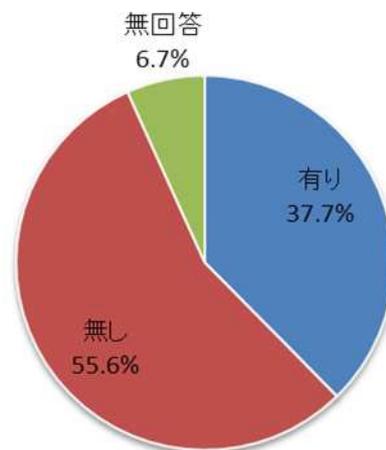
居住地

居住地		調査バス停				総計	割合(%)
		下関駅	新下関駅	東駅	城下町長府		
市街地中心地域	本庁	63	9	45	4	121	26.2%
	彦島	29		10	1	40	8.7%
	長府	6	1	5	61	73	15.8%
	勝山	9	22	11	5	47	10.2%
	川中	21	8	12	1	42	9.1%
	小計	128	40	83	72	323	69.9%
市街地東部地域		1	1	2	5	9	1.9%
市街地西部地域		7	3	4		14	3.0%
その他市内		3	1	1		5	1.1%
市外(九州)		16	1	14	1	32	6.9%
市外(その他)		2	1	3	1	7	1.5%
無回答		51	3	7	11	72	15.6%
総計		208	50	114	90	462	100.0%

回答者の運転免許の保有状況は、運転免許有りが37.7%、無しが55.6%となり、運転免許無しが多数となる。

運転免許の保有状況

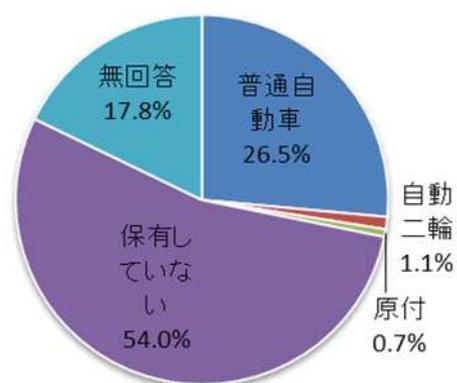
運転免許	回答数(人)	割合(%)
有り	174	37.7%
無し	257	55.6%
無回答	31	6.7%
総計	462	100.0%



回答者の自家用車の所有状況は、普通自動車所有が26.5%となり、普通自動車、自動二輪等を所有していない回答者が54.0%と多数となる。

自家用車の所有状況

自家用車の所有	回答数(人)	割合(%)
普通自動車	122	26.4%
自動二輪	5	1.1%
原付	3	0.6%
保有していない	249	53.9%
無回答	82	17.7%
総計	462	100.0%



3 - 2 . バスの利用状況

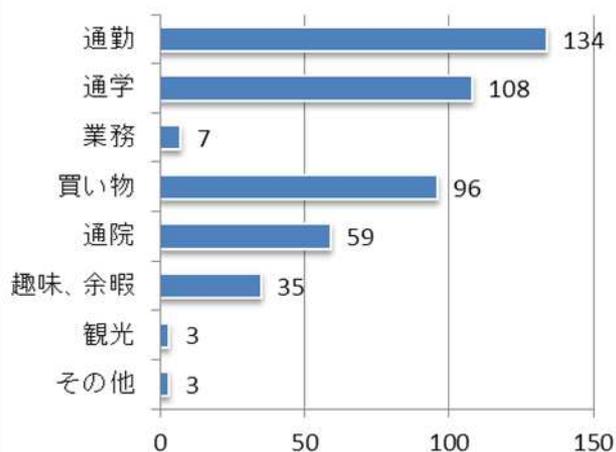
(1) バス利用の目的

バス利用の目的（複数回答）は、「通勤」が最も多く（29.0%）、次いで「通学」（23.4%）、「買い物」（20.8%）、「通院」（12.8%）となる。

バス利用の目的（複数回答）

利用の目的	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
通勤	134	29.0%
通学	108	23.4%
業務	7	1.5%
買い物	96	20.8%
通院	59	12.8%
趣味、余暇	35	7.6%
観光	3	0.6%
その他	3	0.6%
(回答者総数)	462	-

無回答を除く



(2) 主なバス利用区間

バスの利用区間として、「下関駅 東駅」区間が最も多く挙げられ、次いで「城下町長府 下関駅」「城下町長府 東駅」が挙げられた。その他、「下関駅 ゆめシティ」「東駅 天神」「城下町長府 唐戸」などが挙げられた。また乗継バス停として、「下関駅」が最も多く挙げられ、その他「唐戸」「東駅」などが挙げられた。

鉄道を利用してバスに乗り継いだ回答者は32人となり、回答者総数の6.9%となる。主な鉄道乗継区間として、「下関 門司」「下関 小倉」など九州方面からの利用が挙げられた。

主なバス利用区間及び乗継バス停

下関駅バス停		新下関駅バス停		東駅バス停		城下町長府バス停	
バス利用区間	回答数(人)	バス利用区間	回答数(人)	バス利用区間	回答数(人)	バス利用区間	回答数(人)
下関駅 東駅	15	新下関 ゆめシティ	6	東駅 下関駅	21	城下町長府 下関駅	15
下関駅 唐戸	5	新下関 済生会	3	下関駅 東駅	6	城下町長府 唐戸	9
綾羅木 下関駅	4	新下関 山の口	3	東駅 天神	6	城下町長府 東駅	6
下関駅 垢田	4	新下関 唐戸	3	東駅 山の田	5	城下町長府 マリンランド	2
下関駅 城下町長府	4	新下関 新町一丁目	2	東駅 唐戸	4	城下町長府 御殿町	2
下関駅 山の口	3	新下関 中土居	2	東駅 済生会病院	3	城下町長府 才川	2
下関駅 丸山	2	新下関 田倉	2	東駅 新下関駅	3	城下町長府 三百目	2
下関駅 丸山町	2	新下関 東駅	2	山の田 東駅	2	城下町長府 前田	2
下関駅 後田	2	新下関 豊町	2	東駅 綾羅木	2	城下町長府 長府駅	2
下関駅 汐入町	2	その他バス区間	24	東駅 垢田	2	城下町長府 老山公園口	2
下関駅 勝谷団地	2			東駅 秋根	2	その他バス区間	36
下関駅 大学町	2			東駅 新下関	2		
下関駅 長府	2			東駅 西の端	2		
下関駅 宝蔵寺	2			東駅 了円寺	2		
垢田 下関駅	2			迫 東駅	2		
新垢田 下関駅	2			その他バス区間	46		
大学町三丁目 下関駅	2						
稗田 下関駅	2						
宝蔵寺 下関駅	2						
その他バス区間	101						

回答数2以上の区間を抽出している。

下関駅バス停		新下関駅バス停		東駅バス停		城下町長府バス停	
乗継バス停	回答数(人)	乗継バス停	回答数(人)	乗継バス停	回答数(人)	乗継バス停	回答数(人)
下関駅	27	新下関	3	唐戸	6	唐戸	7
東駅	1			下関駅	4	下関駅	6
稗田中央	1			東駅	4	城下町長府	2
本村	1					満珠台	1

鉄道の利用者

調査バス停	鉄道利用者(人)	回答者総数(人)	回答者総数に占める割合(%)
下関駅バス停	7	208	3.4%
新下関駅バス停	5	50	10.0%
東駅バス停	18	114	15.8%
城下町長府バス停	2	90	2.2%
総計	32	462	6.9%

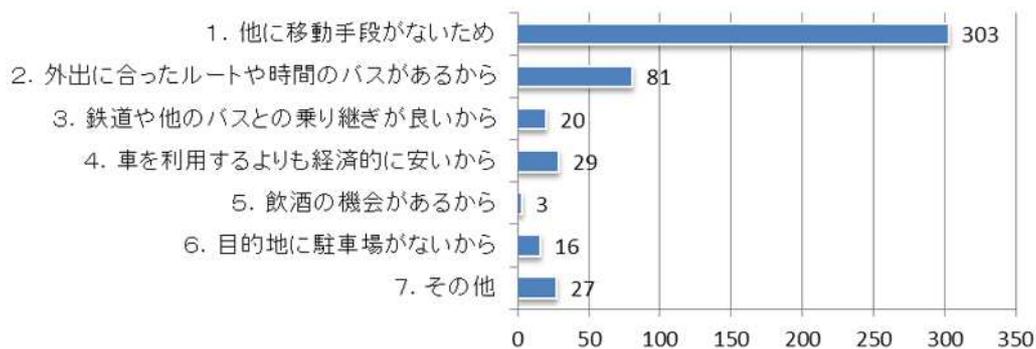
主な鉄道乗継区間	
下関 門司	
下関 小倉	
新下関 下関 など	

(3) バス利用の理由

バス利用の理由（複数回答）は、「他に移動手段がないため」が303人（65.6%）と最も多く、次いで「外出に合ったルートや時間のバスがあるから」（81人、17.5%）、「車を利用するよりも経済的に安いから」（29人、6.3%）となる。

バス利用の理由（複数回答）

利用の理由	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 他に移動手段がないため	303	65.6%
2. 外出に合ったルートや時間のバスがあるから	81	17.5%
3. 鉄道や他のバスとの乗り継ぎが良いから	20	4.3%
4. 車を利用するよりも経済的に安いから	29	6.3%
5. 飲酒の機会があるから	3	0.6%
6. 目的地に駐車場がないから	16	3.5%
7. その他	27	5.8%
(回答者総数)	462	-



(4) 運賃の支払方法

バス運賃の支払方法(複数回答)は、「バスカード」が197人(42.6%)と最も多く、次いで「通勤・通学定期」(90人、19.5%)、「現金」(75人、16.2%)となる。

バス運賃の支払方法(複数回答)

支払方法	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1.現金	75	16.2%
2.バスカード	197	42.6%
3.割引キップ	5	1.1%
4.通勤・通学定期	90	19.5%
5.学生フリー定期	30	6.5%
6.高齢者割引定期券	43	9.3%
7.その他	12	2.6%
(回答者総数)	462	-



(5) 最寄りバス停

自宅の最寄りバス停として、「城下町長府」(42人)が最も多く挙げられ、次いで「東駅」(27人)、「新下関」(14人)、「下関駅」(12人)が挙げられている。

最寄りバス停(上位10位)

最寄りバス停	回答数(人)
城下町長府	42
東駅	27
新下関	14
下関駅	12
垢田	6
山の田	6
新町四丁目	6
綾羅木	6
唐戸	5
稗田	5

最寄りバス停(下関駅バス停)

最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)
下関駅	10	安岡駅前	1	勝谷団地前	1	弟子侍	1
綾羅木	4	一の宮住吉	1	小串駅	1	弟子侍一丁目	1
垢田	4	円光寺	1	小月駅	1	田中町	1
唐戸	4	塩浜	1	小倉駅	1	渡瀬	1
稗田	4	海士郷	1	松小田	1	東駅	1
山の口	3	丸山	1	上条	1	入江	1
勝谷団地	3	筋川	1	上田中	1	入江町	1
波高	3	金毘羅	1	新下関	1	迫町	1
宝蔵寺	3	県営住宅前	1	新開町	1	幡生口	1
安岡	2	後田	1	新地	1	稗田口	1
宮の下	2	厚生病院	1	新町一丁目	1	彦島山中	1
厳島神社前	2	厚母	1	新町四丁目	1	彦島第二保育園前	1
山の田	2	江の浦	1	神向	1	浜浦	1
城下町長府	2	江の浦幼稚園	1	杉田一丁目	1	福浦	1
新垢田	2	江後	1	杉田二丁目	1	福浦口	1
杉田	2	荒高	1	西山口	1	福浦本町	1
大学町三丁目	2	細江町	1	青山	1	福江	1
竹崎	2	山の田北町	1	赤間神宮前	1	本村	1
彦島	2	山中	1	大学町一丁目	1	妙寺	1
棕野	2	市民病院前	1	大学町四丁目	1	門司駅	1
サンデン?	1	社宅前	1	大坪本町	1	了円寺	1
愛の家	1	受水槽前	1	竹の子島	1		
綾羅木海浜公園前	1	勝谷新町本通	1	長府美術館	1		

最寄りバス停(新下関駅バス停)

最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)
新下関	13	下大野	1	秋根	1	稗田口	1
御殿町	2	丸山	1	勝山小学校前	1	稗田北町	1
田倉	2	貴船4丁目	1	小倉	1	富任	1
ゆめシティ	1	高磯	1	小野	1	豊か町三丁目	1
綾羅木駅前	1	山の口	1	新町一丁目	1	豊町	1
伊倉	1	山の田南町	1	新町四丁目	1	豊町三丁目	1
一の宮	1	山口市	1	長安線	1	豊町二丁目	1
園芸センター前	1	珠の浦	1	内日	1	棕野	1

最寄りバス停（東駅バス停）

最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)
東駅	26	福浦口	2	高坊	1	大久保	1
山の田	4	本村	2	山ノ谷	1	壇ノ浦	1
新町四丁目	4	マリソランド	1	山の谷	1	中央工業前	1
綾羅木	2	綾羅木支所前	1	山中二丁目	1	長府城下町	1
安岡	2	卯月峠	1	秋根	1	迫	1
一の宮	2	栄町	1	勝山小学校前	1	稗田	1
下関駅	2	円光寺	1	勝谷新町三丁目	1	稗田口	1
宮の下	2	横野	1	新関町	1	彦島ロータリー	1
筋川	2	河原	1	清末	1	武久	1
後田	2	金屋浜	1	西鉄バス	1	福良	1
垢田	2	後田三丁目	1	青山	1	豊松園	1
城下町長府	2	向山町	1	川棚	1	堀越	1
新下関駅	2	垢田小学校前	1	大学町	1	門司	1
稗田中央	2	高磯	1	大学町四丁目	1	了円寺	1

最寄りバス停（城下町長府バス停）

最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)	最寄りバス停	回答数(人)
城下町長府	38	才川	1	埴生	1	唐戸	1
御殿町	2	珠の浦	1	清末	1	浜浦中央	1
前八幡	2	三百目	1	清末千房	1	浜浦南町	1
浜浦	2	山中	1	青山	1	満珠台	1
浜浦台	2	棧橋通	1	千鳥ヶ丘	1	有富	1
王司	1	春日町	1	前田	1		
金屋浜	1	小月新町4丁目	1	中迫	1		
形山	1	松小田	1	鳥居前	1		

自宅から最寄りバス停までの交通手段は、「徒歩」が最も多く、無回答を除く大多数を占める。

自宅から最寄りバス停までの所要時間は、全体で6.7分となる。交通手段別では、「徒歩」で6.7分となる。最短は「バイク」の4.5分となり、最長は「自転車」の9.0分となる。

最寄りバス停までの交通手段及び平均所要時間

最寄りバス停までの交通手段	回答数(人)	割合(%)	平均所要時間(分)
1.自動車(自分で運転)	3	0.6%	5.0
2.自動車(家族等の運転)	5	1.1%	8.3
3.バイク	4	0.9%	4.5
4.自転車	8	1.7%	9.0
5.徒歩	295	63.9%	6.7
6.その他	6	1.3%	4.7
無回答	141	30.5%	-
総計	462	100.0%	6.7

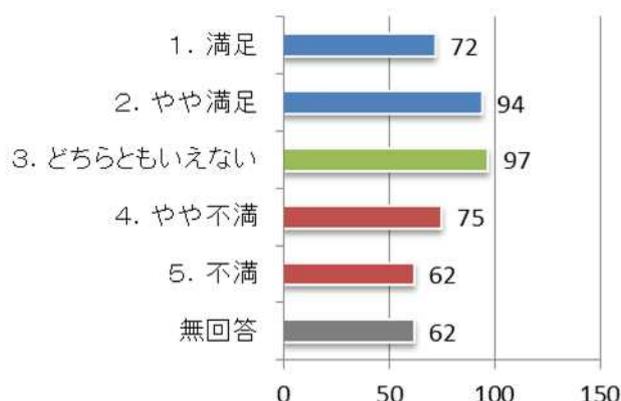
3 - 3 . バス交通に対する満足度

(1) バス交通の満足度

バス交通の満足度は、「どちらともいえない」が最も多く（97人、20.3%）次いで「やや満足」（94人、20.3%）、「やや不満」（75人、16.2%）となる。「満足」「やや満足」を合算した『満足層』は166人となり、「不満」「やや不満」を合算した『不満層』（137人）を上回る。

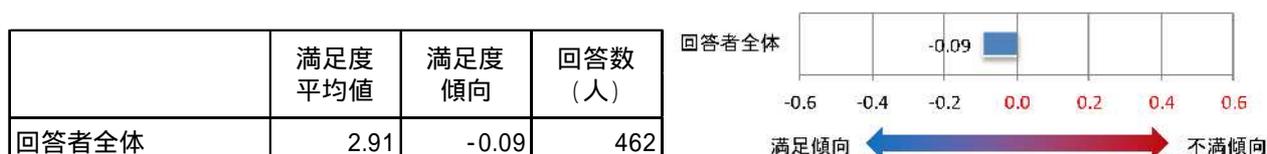
バス交通の満足度

満足度	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	区分
1. 満足	72	15.6%	166	41.5%	満足層
2. やや満足	94	20.3%			
3. どちらともいえない	97	21.0%	97	24.3%	
4. やや不満	75	16.2%	137	34.3%	不満足層
5. 不満	62	13.4%			
無回答	62	13.4%	-	-	
総計	462	100.0%	400	100.0%	



回答者全体の満足度平均値（満足度を「満足」= 1点～「不満」= 5点と数値化し、回答者ごとに平均した値、以下同じ）は2.91点となる。これは、満足度の中央値（3点）を下回っており、僅かではあるが満足の傾向を示している。

バス交通の満足度平均値及び満足度傾向



満足度傾向：満足度を、「満足」= 1点～「不満」= 5点と数値化し、平均値より3を差し引くことで満足度の傾向を表した。0を境に負の値が満足傾向、正の値が不満傾向を示している。

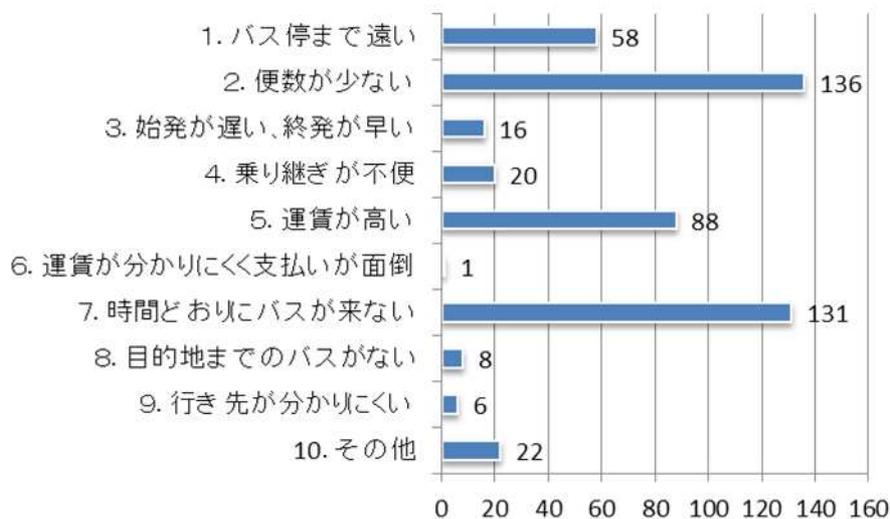
無回答を除く

(2) バス交通の不満点

バス交通の不満内容（複数回答）として、「便数が少ない」（29.4%）が最も多く、次いで「時間通りのバスが来ない」（28.4%）、「運賃が高い」（19.0%）、「バス停まで遠い」（12.6%）が挙げられた。

バス交通の不満内容（複数回答）

不満内容	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. バス停まで遠い	58	12.6%
2. 便数が少ない	136	29.4%
3. 始発が遅い、終発が早い	16	3.5%
4. 乗り継ぎが不便	20	4.3%
5. 運賃が高い	88	19.0%
6. 運賃が分かりにくく支払いが面倒	1	0.2%
7. 時間どおりにバスが来ない	131	28.4%
8. 目的地までのバスがない	8	1.7%
9. 行き先が分かりにくい	6	1.3%
10. その他	22	4.8%
(回答者総数)	462	-



3 - 4 . バス交通に対する改善要望

(1) 希望する運行ルート

希望する運行ルートとして「下関駅」及び「長府」「新下関駅」「東駅」を起終点とする区間が多く挙げられた。その他バス停として、「ゆめシティ」「山の田」「椋野」などが挙げられた。

また、特定のバス停区間ではなく、「市内循環」「彦島一周」など、循環バスのな利用を望む意見も挙げられた。

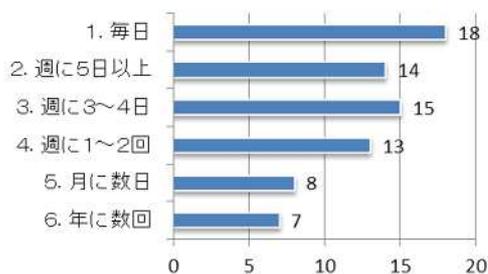
想定する利用頻度として、「毎日」が最も多く挙げられた。

希望する運行ルート

希望する運行ルート	回答数(人)	希望する運行ルート	回答数(人)	希望する運行ルート	回答数(人)	希望する運行ルート	回答数(人)
のぐるめ 下関駅	1	御殿町 ゆめシティ	1	埴生 ゆめタウン	1	長府 新下関国道沿い	1
綾羅木 新椋野	1	御殿町経由	2	新下関 ゆめシティ	1	長府 東駅	1
安岡 下関	1	垢田 新下関駅	1	新下関 山の田	1	東駅 長府	1
安岡 新下関	1	才川 扇町	1	新町四丁目 椋野	1	幡生 東駅	1
伊倉新町 下関駅	1	山の田	1	清末 新下関	1	彦島 東駅	1
下関 博多	1	山行特急	1	川棚 石原	1	彦島一周	1
下関駅 ゆめシティ	1	市内の方面	1	川中 唐戸	1	満珠台 下関駅	1
菊川 ゆめタウン	1	市内循環	1	長府 丸山	1	了円寺 新椋野	1
熊野 椋野	2	松小田 下関	1	長府 山の田	1		

利用頻度 (想定)

利用頻度(想定)	回答数(人)	割合(%)
1. 毎日	18	24.0%
2. 週に5日以上	14	18.7%
3. 週に3～4日	15	20.0%
4. 週に1～2回	13	17.3%
5. 月に数日	8	10.7%
6. 年に数回	7	9.3%
総計	75	100.0%

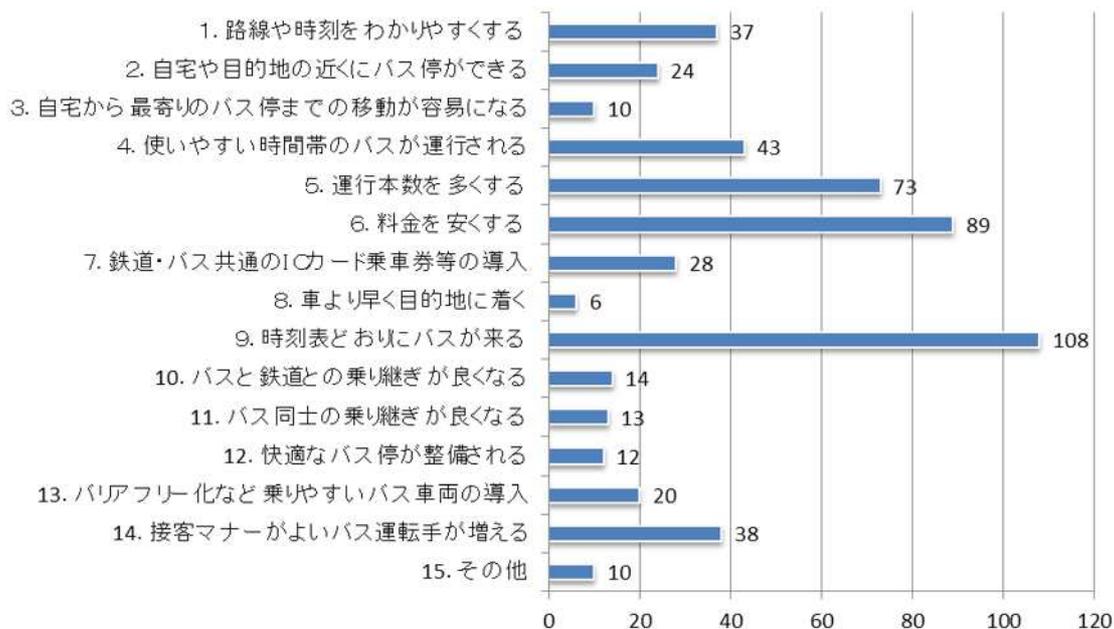


(2) 今後の改善要望

バス交通の今後の改善要望（複数回答）として、「時刻表どおりにバスが来る」が 108 人（23.4%）と最も多く挙げられ、次いで「料金を安くする」（89 人、19.3%）、「運行本数を多くする」（73 人、15.8%）、「使いやすい時間帯のバスが運行される」（43 人、9.3%）が挙げられるなど、運行ダイヤの充実及び利用料金に関する意見が主に挙げられた。

バス交通の不満内容（複数回答）

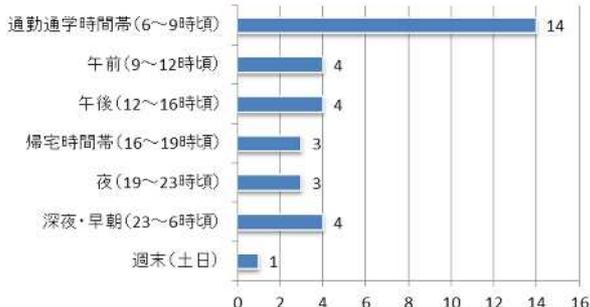
改善要望	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)	改善要望	回答数 (人)	回答者総数 に占める割合 (%)
1. 路線や時刻をわかりやすくする	37	8.0%	9. 時刻表どおりにバスが来る	108	23.4%
2. 自宅や目的地の近くにバス停ができる	24	5.2%	10. バスと鉄道との乗り継ぎが良くなる	14	3.0%
3. 自宅から最寄りのバス停までの移動が容易になる	10	2.2%	11. バス同士の乗り継ぎが良くなる	13	2.8%
4. 使いやすい時間帯のバスが運行される	43	9.3%	12. 快適なバス停が整備される	12	2.6%
5. 運行本数を多くする	73	15.8%	13. バリアフリー化など乗りやすいバス車両の導入	20	4.3%
6. 料金を安くする	89	19.3%	14. 接客マナーがよいバス運転手が増える	38	8.2%
7. 鉄道・バス共通のICカード乗車券等の導入	28	6.1%	15. その他	10	2.2%
8. 車より早く目的地に着く	6	1.3%	(回答者総数)	462	-



希望する運行時間帯として、6時～9時頃の通勤通学時間帯が14人と最も多く挙げられた。

改善要望 - 希望する運行時間帯

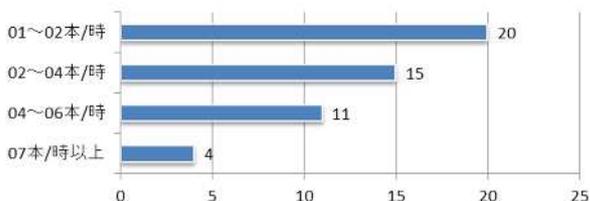
希望する運行時間帯	回答数(人)
通勤通学時間帯(6～9時頃)	14
午前(9～12時頃)	4
午後(12～16時頃)	4
帰宅時間帯(16～19時頃)	3
夜(19～23時頃)	3
深夜・早朝(23～6時頃)	4
週末(土日)	1



希望する運行本数として、1～2本/時が20人と最も多く挙げられた。

改善要望 - 希望する運行本数

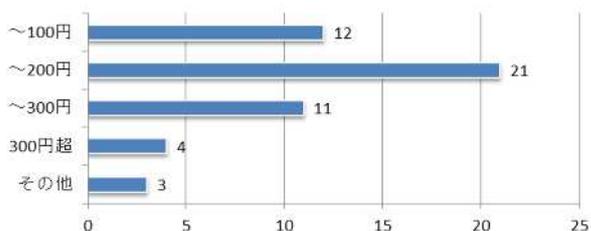
希望する運行本数	回答数(人)
01～02本/時	20
02～04本/時	15
04～06本/時	11
07本/時以上	4



希望する運賃として、100円～200円が21人と最も多く挙げられた。その他として、年間フリーパスや区間内同一運賃を望む意見が挙げられた。

改善要望 - 希望する運賃

希望する運賃	回答数(人)
～100円	12
～200円	21
～300円	11
300円超	4
その他	3



乗継の充実を希望する鉄道駅として、下関駅や綾羅木駅などが挙げられた。乗継の充実を希望するバス停として、新下関駅や城下町長府、山の田バス停などが挙げられた。

改善要望 - 鉄道駅の乗継

乗継鉄道駅	回答数(人)
下関駅	5
綾羅木駅	2
長府駅	1
幡生駅	1
直通が欲しい	1

改善要望 - バス停の乗継

乗継バス停	回答数(人)
城下町長府	1
新下関駅	1
山の田～下関駅間	1